

【 学 部 編 】

I	ポリシー	
1	ディプロマ・ポリシー	学部 1
2	カリキュラム・ポリシー	学部 4
II	卒業要件単位数（詳細）	
1	卒業要件単位数（詳細）	学部 9
III	学科独自の制度	
1	単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準について	学部 10
IV	科目分類番号	
1	科目分類番号について	学部 11
V	共通教育科目等の課程表	
1	共通教育科目等 課程表	学部 12
VI	専門教育科目のカリキュラム・ツリーおよび課程表	
1	カリキュラム・ツリー	学部 22
2	日本語日本文化学科 古典文化コース 課程表	学部 26
3	日本語日本文化学科 近現代文化コース 課程表	学部 30
4	日本語日本文化学科 日本語学・日本語教育コース 課程表	学部 34
5	英語英米文化学科 英米文化研究コース 課程表	学部 38
6	英語英米文化学科 英語研究コース 課程表	学部 42
7	外国語コミュニケーション学科 課程表	学部 46
8	音楽芸術学科 ピアノコース 課程表	学部 51
9	音楽芸術学科 声楽コース 課程表	学部 54
10	音楽芸術学科 管楽器コース 課程表	学部 57
VII	教免取得に関する教育課程表	
1	中高免教職課程について	学部 60
VIII	各種資格	
1	学校図書館司書教諭資格について	学部 70
2	司書資格について	学部 70
3	学校司書養成プログラム資格について	学部 71
4	博物館学芸員資格について	学部 72

1 ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシーとは金城学院大学の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認め、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学修成果の目標となるものです。

〔1〕金城学院大学

金城学院大学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的としています。教育スローガン「強く、優しく。」は、主体性を持ってものごとを成し遂げ、学んだ広い知識を人生の場で生かせる「強さ」、まわりの人々の気持ちを理解し、協働していく「優しさ」を兼ね備えることを意味します。

本学では、上記の建学の精神を踏まえた教育目標の実現を目指し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

(1) 多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

(2) 情報を適正に収集・分析し、色々な角度から論理的に考えることで問題を発見し、解決を図ることができる。

(3) 日本語をはじめ外国語や種々の表現方法を修得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。

3. 態度・志向性

(4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。

(5) 福音主義キリスト教に基づいた倫理観により、隣人のため社会のために主体的に行動し、貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

(6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

〔2〕文学部日本語日本文化学科

日本語日本文化学科では、大学のディプロマ・ポリシーに基づき、日本語や日本文化に関する専門的知識・技能を修得し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

(1) 日本語および日本文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

(2) 日本語の特性や日本文化の諸問題についての情報を適正に収集し、さまざまな研究理論を用いて分析し考察することができる。

(3) 日本語運用能力の基礎や種々の表現方法を修得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。

3. 態度・志向性

(4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。

(5) 福音主義のキリスト教と日本文化の出会いを生かし、異なる価値観を持つ人々との共存に向けて行動し、社会に貢献することができる。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

(6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

〔3〕文学部英語英米文化学科

英語英米文化学科では、大学のディプロマ・ポリシーに基づき、英米の文化や英語に関する専門的知識・技能を修得し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 高度な英語運用能力を持ち、英米の文化や英語に関する専門的知識と豊かな人間性を支える教養を身につけている。

2. 汎用的技能

- (2) 英米の文化または英語の諸問題について、英米文化学・英米文学、英語学・言語学や英語教育学の研究方法を用いて適切に分析し考察することができる。
- (3) 高度な英語運用能力を修得して、世界の多様な人々とコミュニケーションをとることができる。

3. 態度・志向性

- (4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
- (5) 福音主義のキリスト教との出会いを生かし、異なる価値観を持つ人々との共存に向けて積極的に行動し、社会に貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

〔4〕文学部外国語コミュニケーション学科

外国語コミュニケーション学科では、大学のディプロマ・ポリシーに基づき、世界の言語や文化に関する専門的知識・技能を修得し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 日本を含む世界の多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

- (2) 世界の言語や文化の諸問題についての情報を適正に収集し、さまざまな研究理論を用いて分析し考察することができる。
- (3) 日本語をはじめ外国語や種々の表現方法を修得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。

3. 態度・志向性

- (4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
- (5) 福音主義のキリスト教との出会いを生かし、異なる価値観を持つ人々との共存に向けて積極的に行動し、社会に貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

〔5〕文学部音楽芸術学科

音楽芸術学科では、大学のディプロマ・ポリシーに基づき、音楽芸術に関する専門的知識・技能を修得し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

- (2) 音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。
- (3) 日本語や英語で多様な人々とコミュニケーションを行うとともに、音楽演奏を通じて様々な楽想を適切に表現し伝えることができる。

3. 態度・志向性

- (4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
- (5) 福音主義のキリスト教との出会いを生かし、異なる価値観を持つ人々との共存に向けて積極的に行動し、社会に貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな研究課題に取り組むことができる。

2 カリキュラム・ポリシー

カリキュラム・ポリシーとはディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針です。

〔1〕金城学院大学

金城学院大学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的としています。教育スローガン「強く、優しく。」は、主体性を持ってものごとを成し遂げ、学んだ広い知識を人生の場で生かせる「強さ」、まわりの人々の気持ちを理解し、協働していく「優しさ」を兼ね備えることを意味します。

本学では、上記の建学の精神を踏まえた教育目標の実現を目指し、学生が卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実験、実習および実技を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・技能、汎用的技能・能力、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。共通教育科目は、建学の精神に基づく「金城アイデンティティ科目」、本学の教育の核である英語教育及び外国語教育、キャリア教育からなる「金城コア科目」、幅広い教養を身につける「金城展開科目」の下、授業を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。

共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。

専門教育科目における初年次教育では、学科の専門性を踏まえた種々の表現方法のスキル向上、多角的に考える力の向上を図ります。

- (3) 専門教育科目では、学生が専門分野の知識・技能を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。専門分野の体系性に基づき、適切な内容の授業を編成します。
- (4) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように、卒業年次に卒業研究等を実施します。

2. 教育方法

- (5) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (6) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (7) 実験・実習および実技科目においては、知識や技能を身につけ、思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (8) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (9) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザー教員が学生一人ひとりと面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を行います。

3. 評価

- (10) 本学では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力およびこれらの総合的な活用力を

確実に身につけられるように、大学レベル、学科レベル、学生レベルで評価を実施します。

- (11) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、達成すべき質的水準及び具体的な実施方法などに関する学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）を別に定めます。

〔2〕文学部日本語日本文化学科

日本語日本文化学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を、順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実習を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・理解、汎用的技能、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。具体的には「金城アイデンティティ科目」、「金城コア科目」、「金城展開科目」の区分に基づいた科目を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。

共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。

専門教育科目における初年次教育では、日本語と日本文化を扱う本学科の専門性を踏まえた表現方法を修得し、世界の中の日本を多角的に考える力の向上を図ります。

- (3) 専門教育科目では、学生が日本語の運用能力や日本文化に関する知識・技能を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。
- (4) 基礎となる研究理論を学ぶ「基幹科目」と、幅広い応用思考力を学ぶ「展開科目」を設置して、日本語と日本文化に関して深く理解できるよう科目を編成します。
- (5) 日本語の正確な運用能力を身につけるために「基幹科目」を設置し、読解力・発信力の双方にわたる知識・技能を修得できるよう科目を編成します。
- (6) 学生が身につけた知識・技能や態度を総合的に活用できるように「演習科目」を編成します。
- (7) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように、卒業年次に「卒業論文」を設置します。

2. 教育方法

- (8) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (9) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (10) 実習科目においては、体験を通して知識・技能を身につけ、柔軟な思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (11) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (12) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザーがそれぞれの学生と面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を実施します。

3. 評価

- (13) 本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力及びこれらを総合的に活用する力を確実に身につけられるように、学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、個々の教員が適正に評価を実施します。
- (14) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、アセスメント・ポリシーは別に定めます。

〔3〕文学部英語英米文化学科

英語英米文化学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教

育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を、順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実習を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・理解、汎用的技能、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。具体的には「金城アイデンティティ科目」、「金城コア科目」、「金城展開科目」の区分に基づいた科目を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。
共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。
専門教育科目における初年次教育では、本学科の専門性を踏まえた表現方法を修得し、多角的に考える力の向上を図ります。
- (3) 専門教育科目では、学生が英語の高度な運用能力を身につけると同時に英米文化学・英米文学、英語学・言語学、英語教育学、通訳・翻訳学に関する専門的知識を身につけるように、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。専門分野の体系性に基づき、適切な内容の授業を編成します。
- (4) 学生が英語の高度な運用能力を身につけるように、「基幹科目」を設置し、英語で読む、聞く、書く、話すことの4技能を教育するよう科目を編成します。
- (5) 学生が英米文化学・英米文学、英語学・言語学の基本的知識を身につけるように「基礎科目」を設置し、概論を教育します。さらに「展開科目」を設置し、上記の分野、および英語教育学、通訳・翻訳学等の発展的な内容を教育するよう科目を編成します。
- (6) 通訳・翻訳の専門技能を身につけることを目指す学生のために、「展開科目」および「演習科目」を設置し、きわめて高度な英語運用能力と通訳技法を教育するよう科目を編成します。
- (7) 学生が他者の立場や見解を理解しつつ、自らの意見を発信する力を養うように、「演習科目」を設置し、プレゼンテーションとディスカッションの指導を行い、意見交換を重視した教育を行うよう科目を配置します。
- (8) 学生が英米文化学・英米文学、英語学・言語学および英語教育学の研究方法を用いて課題を適切に分析・考察し、その成果を論文にまとめる力を身につけるように、卒業年次に「卒業研究」を設置します。

2. 教育方法

- (9) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (10) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (11) 実習科目においては、体験を通して知識・技能を身につけ、柔軟な思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (12) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (13) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザーがそれぞれの学生と面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を実施します。

3. 評価

- (14) 本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力及びこれらを総合的に活用する力を確実に身につけられるように、学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、個々の教員が適正に評価を実施します。
- (15) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、アセスメント・ポリシーは別に定めます。

〔4〕 文学部外国語コミュニケーション学科

外国語コミュニケーション学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を、順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実習を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・理解、汎用的技能、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。具体的には「金城アイデンティティ科目」、「金城コア科目」、「金城展開科目」の区分に基づいた科目を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。
共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。
専門教育科目における初年次教育では、さまざまな言語と文化を扱う本学科の専門性を踏まえた表現方法を修得し、多角的に考える力の向上を図ります。
- (3) 専門教育科目では、学生が世界の言語や文化に関する知識・技能を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。
- (4) さまざま研究理論と幅広い地域の文化を学ぶ「基礎科目」「展開科目」を設置して、さまざまな言語と文化に関して深く理解できるよう科目を編成します。
- (5) 外国語の高度な運用能力を身につけるために「基幹科目」を設置して、国内外で活躍できる知識・技能を修得できるよう科目を編成します。
- (6) 学生が身につけた知識・技能や態度を総合的に活用できるように「演習科目」を編成します。
- (7) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように、卒業年次に「卒業研究プロジェクト」を設置します。

2. 教育方法

- (8) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (9) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (10) 実習科目においては、体験を通して知識・技能を身につけ、柔軟な思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (11) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (12) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザーがそれぞれの学生と面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を実施します。

3. 評価

- (13) 本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力及びこれらを総合的に活用する力を確実に身につけられるように、学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、個々の教員が適正に評価を実施します。
- (14) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、アセスメント・ポリシーは別に定めます。

〔5〕 文学部音楽芸術学科

音楽芸術学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を、順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実技、実習を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・理解、汎用的技能、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。具体的には「金城アイデンティティ科目」、「金城コア科目」、「金城展開科目」の区分に基づいた科目を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。
共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。
専門教育科目における初年次教育では、さまざまな言語と文化を扱う本学科の専門性を踏まえた表現方法を修得し、多角的に考える力の向上を図ります。
- (3) 専門教育科目では、学生が音楽芸術に関する知識・技能を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。
- (4) 音楽芸術の諸分野はもとより広く芸術の各分野に関して深く学ぶことができるよう、多様な授業科目からなる「基礎科目」「展開科目」を編成します。
- (5) 楽曲に対する的確な解釈に基づく高度な演奏能力を身につけるために「基幹科目」を設置して、社会の様々な分野で活躍できる知識・技能を修得できるよう科目を編成します。
- (6) 学生が身につけた知識・技能や態度を総合的に活用できるように「演習科目」を編成します。
- (7) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように、卒業年次に「卒業演奏」「卒業作品」「卒業論文」を設置します。

2. 教育方法

- (8) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (9) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (10) 実技科目においては、個人レッスンはもとより集団レッスンにおいても、一人ひとりの学生の技能が着実に向上するよう工夫して授業を実施します。
- (11) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (12) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザー教員が学生一人ひとりと面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を実施します。

3. 評価

- (13) 本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力及びこれらを総合的に活用する力を確実に身につけられるように、学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）に基づき、個々の教員が適正に評価を実施します。
- (14) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、アセスメント・ポリシーは別に定めます。

1 卒業要件単位数 (詳細)

	日本語 日本文化 学科	英語英米文化学科				外国語コ ミュニケ ーション 学科	音楽芸術学科				
		英米文化 研究コース	英米文化 研究コース 英語スペシャ リスト養成 プログラム	英語研究 コース	英語研究 コース 英語スペシャ リスト養成 プログラム		ピアノ コース	声楽 コース	管楽器 コース		
卒業要件	128	128	128	128	128	124	124	124	124		
共通教育科目	30	30	30	30	30	22	28	28	28		
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	2	2	2	2	2	2	2		
		キリスト教学(2)	2	2	2	2	2	2	2		
	④英語教育 科目	英語コミュニケーションA(1)	1					1	1	1	
		英語コミュニケーションA(2)	1					1	1	1	
		英語コミュニケーションB(1)	1					1	1	1	
		英語コミュニケーションB(2)	1	履修 不可	履修 不可	履修 不可	履修 不可	履修 不可	1	1	1
		英語コミュニケーションC(1)	1						1	1	1
		英語コミュニケーションC(2)	1						1	1	1
	⑥キャリア 開発教育 科目	キャリア開発A	2	2	2	2	2	2	2	2	
		キャリア開発B	1	1	1	1	1	1	1	1	
女性みらい		1	1	1	1	1	1	1	1		
⑧情報教育科目	情報リテラシー	2	2	2	2	2	2	2	2		
⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	1	1	1	1	1	1	1	1		
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	(キリスト教学(1)、(2)を除く)	2	2	2	2	2	2	2		
	⑤外国語教育科目 (英語英米文化学科は1言語選択)		7	8	8	8	8	7	7		
	⑦教養科目		4	4	4	4	4	4	4		
	⑨S&E教育科目 (スポーツ・アンド・エクササイズ講義、スポーツ・アンド・エクササイズHを除く)		1	1	1	1	1	1	1		
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	(キリスト教学(1)、(2)、選択必修Aでの履修科目を除く)									
	④英語教育科目 (英語コミュニケーションA～Dを除く) ※英語英米文化学科、 外国語コミュニケーション学科履修不可										
	⑤外国語教育科目 (選択必修Aでの履修科目を除く、外国語コミュニ ケーション学科は、ドイツ語(1)～(4)、ドイツ 語会話(1)～(4)、フランス語(1)～(4)、フランス語 会話(1)～(4)、中国語(1)～(4)、中国語会話(1)～(4) を除く)	4	4	4	4	4	4	2	2		
	⑥キャリア開発教育科目 (キャリア開発A、B、女性みらいを除く)										
	⑦教養科目 (選択必修Aでの履修科目を除く)										
	⑧情報教育科目 (情報リテラシーを除く)										
	⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズH									
	⑩学生プロジェクト科目										
	⑪海外研修科目 ※外国語コミュニケーション学科履修不可										
	専門教育科目	70	70	70	70	70	74	70	70	70	
	基礎科目	必修	8	8	8	8	8	6	10	10	
選択必修		-	-	-	-	-	4	-	-		
基幹科目	必修 (コース必修)	(10)	34	31	31	31	12	12	12		
	選択必修 (コース選択必修)	(24)					20				
展開科目	必修 (コース必修)	-	16	(8)	(8)	(8)	24	3	6		
	選択必修 (コース選択必修)	(6)		(8)	(8)	(6)		6	10		
演習科目	必修	6	12	6	10	6	10	8	1		
卒業論文	必修	6									
自由履修		28	28	28	28	28	28	26	26		

1 単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準について

外国語検定試験等の合格または成果に係る学修のうち、外国語コミュニケーション学科の「中国語」「フランス語」「ドイツ語」に関する認定基準表は下表のとおりです。

- 注意：1 認定授業科目を複数の検定試験等で認定する場合は、成績区分の上位の検定試験等で認定されます。
 : 2 教育職員免許状取得予定の場合、教職課程に係る科目を単位認定することはできません。

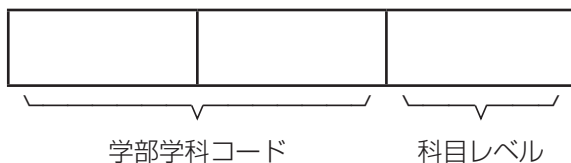
外国語コミュニケーション学科の「中国語」「フランス語」「ドイツ語」に関する認定基準表

試験の種類	成績区分	認定授業科目	認定単位数
中国語検定試験	3 級	基礎中国語(1)(2)	2 単位
	2 級	基礎中国語(1)(2)、検定中国語 A・B	4 単位
	準 1 級	基礎中国語(1)(2)、検定中国語 A・B コミュニケーション中国語 A(1)(2)	6 単位
	1 級	基礎中国語(1)(2)、検定中国語 A・B コミュニケーション中国語 A(1)(2) コミュニケーション中国語 B(1)(2)	8 単位
実用フランス語技能検定試験	3 級	基礎フランス語(1)(2)	2 単位
	準 2 級	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語 A	3 単位
	2 級	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語 A・B	4 単位
	準 1 級	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語 A・B コミュニケーションフランス語 A(1)(2)	6 単位
	1 級	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語 A・B コミュニケーションフランス語 A(1)(2) コミュニケーションフランス語 B(1)(2)	8 単位
フランス語資格試験	A 2 (DELF)	基礎フランス語(1)(2)	2 単位
	B 1 (DELF)	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語 A・B	4 単位
	B 2 (DELF)	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語 A・B コミュニケーションフランス語 A(1)(2)	6 単位
	C 1 (DALF)	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語 A・B コミュニケーションフランス語 A(1)(2) コミュニケーションフランス語 B(1)(2)	8 単位
ドイツ語技能検定試験	3 級	基礎ドイツ語(1)(2)	2 単位
	2 級	基礎ドイツ語(1)(2)、検定ドイツ語 A・B	4 単位
	準 1 級	基礎ドイツ語(1)(2)、検定ドイツ語 A・B コミュニケーションドイツ語 A(1)(2)	6 単位
	1 級	基礎ドイツ語(1)(2)、検定ドイツ語 A・B コミュニケーションドイツ語 A(1)(2) コミュニケーションドイツ語 B(1)(2)	8 単位

- 備考：1 認定科目の選択は、単位修得状況・履修状況に応じて教務委員が行います。
 2 【別表】の認定基準により「外国語検定（中国語 1～4、中国語会話 1～4）（フランス語 1～4、フランス語会話 1～4）（ドイツ語 1～4、ドイツ語会話 1～4）」に認定することができます。ただし、共通教育科目と専門教育科目を同時に認定することはありません。

1 科目分類番号について

科目分類番号は数字3桁でカリキュラムにおける当該科目の位置づけを示したものです。履修の際の参考にしてください。



学部学科コード

共通教育：10

文学部共通：20

日本語日本文化学科：21

英語英米文化学科：22

外国語コミュニケーション学科：25

音楽芸術学科：26

科目レベル

入門：1 科目内容レベルが導入もしくは入門に位置づけられる科目

基礎：2 主に基礎として学ぶべき科目等

発展：3 応用や発展の内容を含む科目等

※科目分類番号と開講基準年次は違います。例えば3桁目のレベルが3に設定されていても、開講基準年次が1年次に設定されていれば1年生でも履修できます。反対にレベルが1や2に設定されていても開講基準年次が3年次になっていれば1・2年生は履修することができません。

1 共通教育科目等 課程表

科目名の★は必修、■は選択必修

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
I 金城アイデンティティ科目	①キリスト教	キリスト教 学 (1) ★	建学の精神であるキリスト教と聖書の世界について学ぶ	101	2		
		キリスト教 学 (2) ★		101	2		
		キリスト教 学 (3) ■	『聖書』とその領域について学ぶ	102		2	
		キリスト教 学 (4) ■	キリスト教の歴史とその領域について学ぶ	102		2	
		聖書の読み方 ■	『聖書』の執筆者、書かれた目的、内容を学ぶ	101	2		
		現代世界とキリスト教 ■	世界各地域のキリスト教事情を学ぶ	101	2		
		医療とキリスト教精神 ■	医療従事者から医療とキリスト教の精神の関係を学ぶ	101	2		
		福祉とキリスト教 ■	福祉の各分野とキリスト教の関わりについて学ぶ	101	2		
		キリスト教文化学入門 ■	中世のキリスト教が生み出した祝祭日の歴史を学ぶ	101	2		
		いのち・こころ ■	誕生から死まで、困難をバネに積極的に生きることを考える	101	2		
	②女性	聖書の女性観 ■	『聖書』における女性の描き方を通して女性観を学ぶ	101	2		
		歴史の中の女性 ■	19世紀の英国と米国の歴史に登場する女性について学ぶ	101	2		
		世界の女性問題 ■	国際社会における女性の人権について考える	101	2		
		福祉と女性 ■	女性が抱える社会福祉の問題を通して生き方を考える	101	2		
		女性と文学 ■	文学や映画に登場する女性を新たな視点から考察する	101	2		
		男女共同参画社会 ■	従来の男女観、国際比較等から日本女性の状況を考える	101	2		
		性差の科学 ■	ジェンダーと人間行動・偏見・コミュニケーションを学ぶ	101	2		
	③国際理解	世界の多様な文化 ■	異なる地域に住む人々の社会や文化、宗教的背景を学ぶ	101	2		
		世界の社会問題 ■	日本を取り巻く国際情勢とその問題について学ぶ	101	2		
		多文化共生社会 ■	多民族・多文化共生社会の実現について考える	101	2		
Topics in Comparative Culture ■		外国と比較した日本文化を基本的な英語で学ぶ	101	2			
Topics in Contemporary Japan ■		英語で学ぶ現代日本の諸問題	101	2			
異文化コミュニケーション ■		異文化間で起こる様々な問題を解決する能力を培う	101	2			

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数				
				1年	2年	3年	4年	
II 金城コア科目	④ 英語教育科目	英語コミュニケーションA (1) 英文・外コミは履修不可 ★	Speaking・Writing	101	1			
		英語コミュニケーションA (2) 英文・外コミは履修不可 ★	Speaking・Writing	101	1			
		英語コミュニケーションB (1) 英文・外コミは履修不可 ★	CALL・Reading	101	1			
		英語コミュニケーションB (2) 英文・外コミは履修不可 ★	CALL・Reading	101	1			
		英語コミュニケーションC (1) 英文・外コミは履修不可 ★	Speaking・Presentation	102		1		
		英語コミュニケーションC (2) 英文・外コミは履修不可 ★	Speaking・Presentation	102		1		
		英語コミュニケーションD (1) 英文・外コミは履修不可 ★	Reading・Listening	102		1		
		英語コミュニケーションD (2) 英文・外コミは履修不可 ★	Reading・Listening	102		1		
		英語コミュニケーションE (1) 英文・外コミは履修不可 ■	Integrated English (総合英語)	103		1		
		英語コミュニケーションE (2) 英文・外コミは履修不可 ■	Integrated English (総合英語)	103		1		
		英語コミュニケーションF 英文・外コミは履修不可 ■	検定試験対策 (TOEIC L&R 対策)	103		1		
		英語コミュニケーションG 英文・外コミは履修不可 ■	検定試験対策 (TOEIC L&R 対策)	103		1		
	⑤ 外国語教育科目	ドイツ語 (1) 外コミは履修不可 ■	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
		ドイツ語 (2) 外コミは履修不可 ■	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
		ドイツ語 (3) 外コミは履修不可 ■	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
		ドイツ語 (4) 外コミは履修不可 ■	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
		ドイツ語会話 (1) 外コミは履修不可 ■	初級1 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	101	1			
		ドイツ語会話 (2) 外コミは履修不可 ■	初級2 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	101	1			
		ドイツ語会話 (3) 外コミは履修不可 ■	初級3 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	102		1		
フランス語 (1) 外コミは履修不可 ■	初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1					
フランス語 (2) 外コミは履修不可 ■	初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1					
フランス語 (3) 外コミは履修不可 ■	初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1				
フランス語 (4) 外コミは履修不可 ■	初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1				

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅱ 金城コア科目 ⑤外国語教育科目	フランス語会話(1) 外コミは履修不可	■ 初級1 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	101	1			
	フランス語会話(2) 外コミは履修不可	■ 初級2 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	101	1			
	フランス語会話(3) 外コミは履修不可	■ 初級3 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	102		1		
	フランス語会話(4) 外コミは履修不可	■ 初級4 (主としてフランス語を用いる会話の授業)	102		1		
	スペイン語(1)	■ 初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	スペイン語(2)	■ 初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	スペイン語(3)	■ 初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	スペイン語(4)	■ 初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	スペイン語会話(1)	■ 初級1 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	101	1			
	スペイン語会話(2)	■ 初級2 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	101	1			
	スペイン語会話(3)	■ 初級3 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	102		1		
	スペイン語会話(4)	■ 初級4 (主としてスペイン語を用いる会話の授業)	102		1		
	中国語(1) 外コミは履修不可	■ 初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	中国語(2) 外コミは履修不可	■ 初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
	中国語(3) 外コミは履修不可	■ 初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	中国語(4) 外コミは履修不可	■ 初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
	中国語会話(1) 外コミは履修不可	■ 初級1 (主として中国語を用いる会話の授業)	101	1			
	中国語会話(2) 外コミは履修不可	■ 初級2 (主として中国語を用いる会話の授業)	101	1			
	中国語会話(3) 外コミは履修不可	■ 初級3 (主として中国語を用いる会話の授業)	102		1		
	中国語会話(4) 外コミは履修不可	■ 初級4 (主として中国語を用いる会話の授業)	102		1		
韓国・朝鮮語(1)	■ 初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1				
韓国・朝鮮語(2)	■ 初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1				
韓国・朝鮮語(3)	■ 初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1			
韓国・朝鮮語(4)	■ 初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1			

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数				
				1年	2年	3年	4年	
II 金城コア科目	⑤外国語教育科目	韓国・朝鮮語会話(1) ■	初級1 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	101	1			
		韓国・朝鮮語会話(2) ■	初級2 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	101	1			
		韓国・朝鮮語会話(3) ■	初級3 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	102		1		
		韓国・朝鮮語会話(4) ■	初級4 (主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業)	102		1		
	⑥キャリア開発教育科目	キャリア開発 A ★	キャリア開発の意義と方法	101	2			
		キャリア開発 B ★	マナー&コミュニケーション	101	1			
		キャリア開発 C ■	自分らしい生き方を設計する	102		2		
		キャリア開発 D ■	いきいき働く女性たち	102		2		
		キャリア開発 E ■	企業のトップに学ぶキャリアの本当の意味	103			2	
		キャリア開発 F ■	将来の仕事を考える	103			2	
		キャリア開発 G (1) ■	インターンシップ準備	102		2		
		キャリア開発 G (2) ■	インターンシップ	103			2	
		女性みらい ★	女性の心身の健康	101	1			
	III 金城展開科目	⑦教養科目	文学 A ■	日本文学論	101	2		
			文学 B ■	西洋文学論	101	2		
			文学 C ■	文学とキリスト教	101	2		
			史学 A ■	日本史入門	101	2		
			史学 B ■	西洋史入門	101	2		
			史学 C ■	現代世界の形成	101	2		
哲学 A ■			東洋哲学	101	2			
哲学 B ■			西洋哲学	101	2			
倫理学 A ■			倫理学入門	101	2			
倫理学 B ■			いのちの倫理	101	2			

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目 ⑦教養科目	地 域 研 究 A ■	日本文化論	101	2			
	地 域 研 究 B ■ 英文は履修不可	英語圏の生活と文化	101	2			
	地 域 研 究 C ■	ヨーロッパの生活と文化	101	2			
	地 域 研 究 D ■	アジアの生活と文化	101	2			
	地 理 ■	日本地理	101	2			
	文 化 人 類 学 ■	文化人類学入門	101	2			
	宗 教 学 ■	キリスト教と日本	101	2			
	日 本 語 学 ■	日本語学入門	101	2			
	日 本 語 表 現 ■	実践日本語	101	2			
	ロジカルシンキング ■	ロジカルシンキング入門	101	2			
	芸 術 ・ 音 楽 A ■ 音楽は履修不可	西洋音楽史入門	101	2			
	芸 術 ・ 音 楽 B ■	西洋音楽鑑賞入門	101	2			
	芸 術 ・ 音 楽 C ■	音楽とキリスト教	101	2			
	芸 術 ・ 音 楽 D ■	ハンドベル入門	101	1			
	芸 術 ・ 美 術 A ■	日本美術史	101	2			
	芸 術 ・ 美 術 B ■	西洋美術史	101	2			
	芸 術 ・ 美 術 C ■	美術とキリスト教	101	2			
	法 学 ■	法学入門	101	2			
	日 本 国 憲 法 ■	日本国憲法の理解	101	2			
	政 治 学 ■	政治と行政	101	2			
	平 和 学 ■	平和学入門	101	2			
	経 済 学 ■	経済学入門	101	2			
	経 営 学 A ■	経営学入門	101	2			
	経 営 学 B ■	マーケティング入門	101	2			

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目 ⑦教養科目	社会学 A ■	社会学入門	101	2			
	社会学 B ■	消費社会論	101	2			
	名古屋学 ■	名古屋の魅力	101	2			
	心理学 A ■	社会心理学	101	2			
	心理学 B ■	発達心理学	101	2			
	心理学 C ■	臨床心理学	101	2			
	生活科学 A ■	生活と科学	101	2			
	生活科学 B ■	健康とサプリメント	101	2			
	生活科学 C ■	化粧品学入門	101	2			
	衣生活学 A ■	生活と衣服	101	2			
	衣生活学 B ■	ファッションの歴史	101	2			
	食生活学 ■	食品栄養学	101	2			
	住生活学 ■	生活と住まい	101	2			
	健康科学 ■	健康科学入門	101	2			
	生物学 A ■	生物学入門	101	2			
	生物学 B ■	生命科学入門	101	2			
	環境学 ■	環境学入門	101	2			
	数学 ■	数学入門	101	2			
	統計科学 ■	統計学入門	101	2			
	情報学 ■	情報学入門	101	2			
	薬学 ■	女性のための薬学入門	101	2			
教職入門 ■	教職の意義と役割	101	2				
学校と教育の歴史 ■	教育の歴史と思想	101	2				
発達と学習 ■	子どもの発達と学習過程	101	2				

※「大学での学び」は高大接続連携授業において履修する科目であり、入学後の履修はできません。

※「スポーツ・アンド・エクササイズH」の修得単位は、選択必修Aには含まれません。

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目	⑦ 教養科目	教 育 相 談 ■	学校における心のケア	101	2		
		大 学 で の 学 び ■ ※履修不可	高大接続連携授業	-	1		
	⑧ 情報教育科目	情 報 リ テ ラ シ ー ★	コンピュータ力を身につける	101	2		
		I T 活 用 A ■	3次元コンピュータ・グラフィックス	102	2		
		I T 活 用 B ■	動画作成編集	102	2		
		I T 活 用 C ■	プログラミング入門	102	2		
		I T 活 用 D ■	Web ページデザイン	102	2		
		I T 活 用 E ■	コンピュータ統計入門	102	2		
		I T 活 用 F ■	デスクトップ・パブリッシング	102	2		
		I T 活 用 G ■	コンピュータ・デザイン	102	2		
		I T 活 用 H ■ 文学部は履修不可	コンピュータと薬学	102	2		
	⑨ S&E 教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズA ■	テニスとゴルフ	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズB ■	バドミントンとライトスポーツ	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズC ■	卓球とフィットネスA（ヨガ・太極拳など）	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズD ■	フィットネスB（体カトレーニング・ストレッチなど） と卓球	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズE ■	ゴルフとバドミントン	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズF ■	ライトスポーツとテニス	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズG ■	ライトスポーツ	101		1	
		スポーツ・アンド・エクササイズH ■	ヘルシーエクササイズ	102			1
スポーツ・アンド・エクササイズ講義 ★		スポーツと健康	102		1		

※修得単位について…実践ビジネス英語A～E、海外ビジネス研修の修得単位については、自由履修の単位に含まれます。

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
⑩学生プロジェクト科目	キャリアプロジェクト ■	社会に参加する	103	2			
	里山プロジェクト ■	里山から見る日本の姿	103	2			
	KIDSセンタープロジェクト ■	KIDSセンター活動に参加する	103	2			
	ボランティアプロジェクト ■	ボランティアを实践する	103	2			
	訪問演奏プロジェクト ■	慰問演奏を行おう	103	2			
⑪海外研修科目	海外研修 A ■ 外コミは履修不可	北米	103	2			
	海外研修 B ■ 外コミは履修不可	イギリス	103	2			
	海外研修 C ■ 外コミは履修不可	オーストラリア	103	2			
	海外研修 D ■ 外コミは履修不可	中国	103	2			
	海外研修 E ■ 外コミは履修不可	その他の地域	103	2			
	海外留学準備講座 ■	留学への心構えや留学先の文化・社会的背景を学ぶ	101	1			
⑫実践ビジネス英語科目	実践ビジネス英語 A ■ 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 550以上を目指す	103	1			
	実践ビジネス英語 B ■ 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 600以上を目指す	103	1			
	実践ビジネス英語 C ■ 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 650以上を目指す	103		1		
	実践ビジネス英語 D ■ 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 700以上を目指す	103			1	
	実践ビジネス英語 E ■ 選抜者以外は履修不可	英語のレポート作成方法を学ぶ	103				1
	海外ビジネス研修 ■ 選抜者以外は履修不可	カナダでビジネスコミュニケーションを学ぶ	103		1		

Ⅲ 金城展開科目

各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等（中・高・栄養免許）

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
国 語 科 指 導 法 A	102	4			
国 語 科 指 導 法 B	102	2			
国 語 科 指 導 法 C	102	2			
社会科・地理歴史科指導法A	102	2			
社会科・地理歴史科指導法B	102	2			
社会科・公民科指導法A	102	2			
社会科・公民科指導法B	102	2			
理 科 指 導 法 A	102	4			
理 科 指 導 法 B	102	2			
理 科 指 導 法 C	102	2			
音 楽 科 指 導 法 A	102	4			
音 楽 科 指 導 法 B	102		2		
音 楽 科 指 導 法 C	102		2		
家 庭 科 指 導 法 A	102	4			
家 庭 科 指 導 法 B	102		2		
家 庭 科 指 導 法 C	102		2		
英 語 科 指 導 法 A	102	4			
英 語 科 指 導 法 B	102		2		
英 語 科 指 導 法 C	102		2		
書 道 科 指 導 法	102	4			
情 報 科 指 導 法	102	4			
福 祉 科 指 導 法	102	4			

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
学 校 と 教 育 の 歴 史	101	2			
教 職 入 門	101	2			
教 育 社 会 学	102		2		
発 達 と 学 習	101	2			
特別支援教育の理論と方法	102		2		
教 育 課 程 論	102			2	
道徳教育の理論と方法	102			2	
総合的な学習の時間の指導法	102		2		
特 別 活 動 の 指 導 法	102			2	
教育の方法及び 情報通信技術の活用	102		2		
生徒・進路指導と キャリア教育の理論と方法	102			2	
教 育 相 談	101	2			
教 育 実 習 A	103				5
教 育 実 習 B	103				3
教職実践演習（中高）	103				2
教職実践演習（栄養教諭）	103				2

日本語科目・日本事情に関する科目

外国人留学生以外で履修を希望する場合は、
国際交流センターに問い合わせてください。

科目区分	授業科目	科目分類番号	単位数
日本語科目	日本語 211	102	1
	日本語 212	102	1
	日本語 213	102	1
	日本語 214	102	1
	日本語 215	102	1
	日本語 221	102	1
	日本語 222	102	1
	日本語 223	102	1
	日本語 224	102	1
	日本語 225	102	1
	日本語 311	103	1
	日本語 312	103	1
	日本語 313	103	1
	日本語 314	103	1
	日本語 315	103	1
	日本語 321	103	1
	日本語 322	103	1
	日本語 323	103	1
	日本語 324	103	1
	日本語 325	103	1
日本語 411	103	1	
日本語 412	103	1	
日本語 421	103	1	
日本語 422	103	1	

科目区分	授業科目	科目分類番号	単位数
日本事情に関する科目	日本事情 A	102	2
	日本事情 B	102	2
	日本事情 C	102	2
	日本事情 D	102	2
	インディペンデント・スタディ	103	2

1 カリキュラム・ツリー

カリキュラム・ツリーとは、専門教育科目のカリキュラムにおいて、学生が卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性を系統図的に可視化したものです。カリキュラムの年次進行、授業科目間のつながりなど、カリキュラムの体系性が一望できるようになっています。

日本語日本文化学科

青字は必修科目

		1 年	2 年	3 年	4 年
基礎科目		古典文化入門 近現代文化入門 日本語学入門 日本文化通史			
古典文化 コース 科目群	基幹科目	古典文化史 古典文学史	古典文化概論 古典文学概論 古典文化講読 A・B 古典文学講読 A・B 古典文化講義 A・B 漢文学概論 A・B 漢文学史 漢文学講読		
	展開科目			日本文化総論 古典芸術論 日本書誌学 古典特殊講義 A～D 日本民俗学 A・B 日本美術史 A・B	
近現代文化 コース 科目群	基幹科目	近現代文化史 近現代文学史	近現代文化概論 近現代文学概論 近現代文化研究 A・B 近現代文学講読 A・B 近現代文化講義 A・B	比較文化・文学理論 メディア言説論	
	展開科目		現代芸術論 A・B	ポップカルチャー論 A・B 近現代特殊講義 A～D 日本文化創造 A・B	
日本語学・ 日本語教育 コース 科目群	基幹科目	日本語史 A・B	日本語学概論 A・B 日本語学講読 A・B 日本語学講義 A～E		
	展開科目	日本語教育入門	Cross-Cultural Communication 日本語教授法 世界の日本語教育	日本語学特殊講義 E 日本語の音声・文字 日本語文法 日本語教育の諸問題 日本語教育演習 A・B 国内日本語教育実習 海外日本語教育実習 日本語学特殊講義 A～D	
コース共通 科目群	展開科目	図書館概論 図書館情報資源概論 図書館基礎特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史 図書館施設論 博物館概論 博物館資料論	書道史 書論 生涯学習概論 図書館情報技術論 図書館サービス概論 情報サービス論 図書館サービス演習 博物館資料保存論 博物館展示論	図書館制度・経営論 児童サービス論 情報サービス演習(1)(2) 情報資源組織論 情報資源組織演習(1)(2) 学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用 博物館経営論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館実習(1)	博物館実習(2)
キャリア・リテ ラシー科目群	基幹科目	言語の技法 A・B 日文キャリア	人文系メディア・リテラシー A・B	論文の作法 A・B	
実習科目群	基幹科目	日本文化実習 A～D 書道 A・B	書道 C・D		
リベラル アーツ 科目群	展開科目	西洋音楽史入門 西洋美術史 A・B 中国語文化入門 フランス語文化入門 ドイツ語文化入門	ヨーロッパの文化と芸術 金城シネマ 日本の多文化事情 世界と日本のクラシック 英米文化研究 A～E イタリア語入門(1)(2)		
			民族と芸術 英語語彙研究 英語意味研究 地中海文化入門 イタリア文化入門		
演習科目・卒業論文			日本文化演習 A・B	日本文化専門演習 A・B	卒業論文演習 A・B 卒業論文

※各コースの必修科目については、課程表で確認してください。

英語英米文化学科

青字は必修科目

		1 年	2 年	3 年	4 年
基礎科目		英語圏文化入門 英米文学の世界 英語研究入門A・B			
基幹科目		Teacher-Student English Interview Reading/Writing (1)(2) Speaking/Writing (1)(2) Listening/Pronunciation (1)(2) Business Communication (1)(2) English Grammar (1)(2) 留学のための英語 基礎英文法 TOEFL・IELTS演習	Reading/Writing (3)(4) Speaking/Writing (3)(4) Extensive English (1)(2) Business Communication (3)(4)	Reading/Writing (5)(6) Speaking/Writing (5)(6) Business Communication (5)(6) Advanced Speaking A・B	Reading/Writing (7)(8) Speaking/Writing (7)(8) Business Communication (7)(8)
展開科目	英米文化研究コース	西洋美術史A・B 西洋音楽史入門	イギリス文化概論 イギリス文学概論 アメリカ文化概論 アメリカ文学概論 英米文化研究A～E 英米文化研究E～G ヨーロッパの文化と芸術	英米文学研究C・D 日英文化研究A・B 日米文化研究A・B	英米文学研究A・B
	英語研究コース		英語構造研究(1)(2) 英語音声研究(1)(2) Cross-Cultural Communication	言語習得特論A・B 日本語学特殊講義E 日本語の音声・文字 日本語文法 日本語教育の諸問題 世界の英語	英語学特殊研究A・B 日本語学特殊講義A・B
				英語語彙研究 英語意味研究 言語コミュニケーション理論A・B 日本語学特殊講義C・D 社会言語学研究	
		キッズ・イングリッシュ・プログラム		小学校英語	早期英語教育研究 早期英語教育教材研究
	エアラインプログラム		English for Hospitality コミュニケーションスキル エアラインビジネス論	エアラインサービス論 ホスピタリティ論 サービスコミュニケーション論 サービスコミュニケーション演習 エアライン実地研修	
	学科共通	中国語文化入門 フランス語文化入門 ドイツ語文化入門 日本語教育入門	通訳入門(1)(2) 翻訳入門(1)(2) 英語教育研究A・B 異文化間コミュニケーション 古典文化講読A・B 古典文学講読A・B 近現代文化講義A・B 現代芸術論A・B 金城シネマ 日本の多文化事情 世界と日本のクラシック 日本語教授法 世界の日本語教育 イタリア語入門(1)(2)	翻訳演習(1)(2) アメリカ経済論 アメリカ社会論	翻訳演習(3)(4)
			Topics in Language and Culture A～D 異文化理解A～D・F 民族と芸術 イタリア文化入門 地中海文化入門		
			異文化理解E		
	英語スペシャリスト養成プログラム演習科目			通訳演習A(1)(2) 通訳演習B(1)(2)	通訳演習A(3)(4) 通訳演習B(3)(4)
	演習科目・卒業研究	基礎演習(1)(2)		専門演習(1)(2)	専門演習(3)(4) 卒業研究

※各コースの必修科目については、課程表で確認してください。

外国語コミュニケーション学科

青字は必修科目

		1 年	2 年	3 年	4 年
基礎科目		海洋コース入門 大陸コース入門 ディベート入門 中国語文化入門 フランス語文化入門 ドイツ語文化入門	ディベートA・B		
基幹科目	英語科目群	Grammar(1)(2) Reading(1)(2) Conversation(1)(2)	Reading and Writing(1)(2) TOEIC Intermediate(1)(2) Oral Presentation(1)(2) Language Camp	Advanced English A・B	
	外国語科目群	基礎中国語(1)(2) コミュニケーション中国語A(1)(2) コミュニケーション中国語B(1)(2)	中級中国語(1)(2) 読解中級中国語(1)(2) コミュニケーション中級中国語(1)(2)	上級中国語(1)(2)	
		基礎フランス語(1)(2) コミュニケーションフランス語A(1)(2) コミュニケーションフランス語B(1)(2)	中級フランス語(1)(2) 読解中級フランス語(1)(2) コミュニケーション中級フランス語(1)(2)	上級フランス語(1)(2)	
		基礎ドイツ語(1)(2) コミュニケーションドイツ語A(1)(2) コミュニケーションドイツ語B(1)(2)	中級ドイツ語(1)(2) 読解中級ドイツ語(1)(2) コミュニケーション中級ドイツ語(1)(2)	上級ドイツ語(1)(2)	
海外キャリアアッププログラム	TOEIC入門 TOEFL A 検定中国語A 検定フランス語A 検定ドイツ語A 実践中国語A・B 実践フランス語A・B 実践ドイツ語A・B	TOEFL B 海外キャリアトレーニング(1) 検定中国語B・C 検定フランス語B・C 検定ドイツ語B・C 実践中国語C・D 実践フランス語C・D 実践ドイツ語C・D	English Communication(1)(2) 英語圏セメスター留学 海外キャリアトレーニング(2) コミュニケーション上級中国語(1)(2) コミュニケーション上級フランス語(1)(2) コミュニケーション上級ドイツ語(1)(2) 実践中国語E 実践フランス語E 実践ドイツ語E		
		英語スピーチ強化講座A・B			
展開科目	理論研究科目群		比較文化研究 テクスト論 社会と文化 文化社会学研究 文化人類学研究 社会言語学研究 ポストコロナル研究 民族と芸術 ジェンダー研究		
	地域研究科目群		中国古代文化研究 中国近現代社会研究 華僑・華人文化研究 近世フランス文化研究 近現代フランス文化研究 カリブ海・アフリカ文化研究 中世・近世・近代ドイツ文化研究 近現代ドイツ文化研究 スイス・オーストリア文化研究 イタリア文化入門 地中海文化入門 異文化理解A～F		
	日本語教育プログラム	日本語教育入門	日本語教授法 世界の日本語教育 日本語学講読A 日本語史A・B 日本語学講義A・B・D	日本語の音声・文字 日本語文法 日本語教育の諸問題 日本語教育演習A・B 日本語学概論A・B 日本語学講読B 日本語学講義C・E 国内日本語教育実習 海外日本語教育実習	
	英語文化圏科目群		英語学 英米文学の世界 イギリス文化概論 アメリカ文化概論 イギリス文学概論 アメリカ文学概論	世界の英語 日英文化研究A・B 日米文化研究A・B	
	研修科目群	海外英語研修 海外中国語研修 海外フランス語研修 海外ドイツ語研修 海外短期研修	海洋文化研修		
	文学部リベラルアーツ	西洋音楽史入門 西洋美術史A・B	古典文化講読A・B 古典文学講読A・B 近現代文化講義A・B 現代芸術論A・B 英米文化研究A～E 金城シネマ Cross-Cultural Communication 日本の多文化事情 世界と日本のクラシック ヨーロッパの文化と芸術 イタリア語入門(1)(2)	英語語彙研究 英語意味研究	
演習科目・卒業研究	基礎演習(1)(2)	専門演習(1)(2)	専門演習(3)(4)	専門演習(5)(6) 卒業研究プロジェクト	

音楽芸術学科

青字は必修科目

		1 年	2 年	3 年	4 年	
基礎科目		音楽芸術学 ソルフェージュ 音楽理論	西洋音楽史A・B			
基幹科目		ピアノ奏法(1)(2) 声楽(1)(2) 管楽器奏法(1)(2)	ピアノ奏法(3)(4) 声楽(3)(4) 管楽器奏法(3)(4)	ピアノ奏法(5)(6) 声楽(5)(6) 管楽器奏法(5)(6)	ピアノ奏法(7)(8) 声楽(7)(8) 管楽器奏法(7)(8)	
演習科目					音楽芸術学演習 卒業演奏・卒業作品・卒業論文	
展開科目	A群 音楽理論／音楽実技	演奏家育成プログラム	発音法 声楽伴奏演習 アンサンブルコンサート演習A ステージアクティング 管楽アンサンブルA～D 演奏家特別レッスンA	アンサンブルコンサート演習B オペラ演習 声楽アンサンブル 演奏家特別レッスンB		
		ピアノ指導者育成プログラム	ヤマハグレード取得講座A～G リトミック	ヤマハグレード取得講座H～J ピアノ指導法(1) 管弦楽編曲法 指揮法(1)	ピアノ指導法(2) ピアノ教室レッスン実習	室内アンサンブルA・B 古典舞踏
		音楽教員育成プログラム	合唱 副科ピアノ奏法A・B 副科声楽 基礎	合唱編曲法 合唱指導法 副科ピアノ奏法C・D 副科声楽 応用A・B 副科管楽器	吹奏楽指導法 ティーチング・トレーニング 副科ピアノ奏法E・F 副科声楽 応用C・D 邦楽A・B	音楽教員育成講座A・B
	B群 文化・鑑賞		ドイツ語文化入門 フランス語文化入門 西洋音楽史入門 西洋美術史A・B	ヨーロッパの文化と芸術 イタリア語入門(1)(2)	クラシック音楽研究 音楽と文学 音楽と美術 日本音楽論 民族音楽論	イタリア文化入門
		C群 リベラルアーツ		中国語文化入門 日本語教育入門	金城シネマ 世界と日本のクラシック 日本語教授法 世界の日本語教育 Cross-Cultural Communication 日本の多文化事情 英米文化研究A～E 古典文化講読A・B 古典文学講読A・B 近現代文化講義A・B 現代芸術論A・B	
				民族と芸術 地中海文化入門 英語語彙研究 英語意味研究		

※各コースの必修科目については、課程表で確認してください。

※プログラムは一種の履修モデルですので明確な区分はありません。各プログラムの科目を履修可能です。(一部履修に条件のある科目もあります。)

日本語日本文化学科

2 古典文化コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目						
8単位必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
古典文化入門★	211	2				
近現代文化入門★	211	2				
日本語学入門★	211	2				
日本文化通史★	211	2				

基幹科目						
2単位必修 4単位選択必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
キャリア・リテラシー科目群	言語の技法 A★	211	1			
	言語の技法 B★	211	1			
	日文キャリア☆	211	2			
	人文系メディア・リテラシーA☆	212		2		
	人文系メディア・リテラシーB☆	212		2		
	論文の作法 A☆	212			1	
	論文の作法 B☆	212			1	

基幹科目						
4単位選択必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
実習科目群	日本文化実習 A☆	211	1			
	日本文化実習 B☆	211	1			
	日本文化実習 C☆	211	1			
	日本文化実習 D☆	211	1			
	書道 A☆	211	1			
	書道 B☆	211	1			
	書道 C☆	212		1		
	書道 D☆	212		1		

基幹科目						
・所属コース科目群から8単位必修、 加えて8単位選択必修 ・他コース科目群も含めた中から8単位選択必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
古典文化コース科目群	古典文化概論★	212		2		
	古典文学概論★	212		2		
	古典文化史★	211	2			
	古典文学史★	211	2			
	古典文化講読 A☆	212		2		
	古典文化講読 B☆	212		2		
	古典文学講読 A☆	212		2		
	古典文学講読 B☆	212		2		
	古典文化講義 A☆	212		2		
	古典文化講義 B☆	212		2		
	漢文学概論 A☆	212		2		
	漢文学概論 B☆	212		2		
	漢文学史☆	212		2		
漢文学講読☆	212		2			

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
近現代文化概論 ☆	212		2		
近現代文学概論 ☆	212		2		
近現代文化史 ☆	211	2			
近現代文学史 ☆	211	2			
近現代文化研究 A ☆	212		2		
近現代文化研究 B ☆	212		2		
近現代文学講読 A ☆	212		2		
近現代文学講読 B ☆	212		2		
近現代文化講義 A ☆	212		2		
近現代文化講義 B ☆	212		2		
比較文化・文学理論 ☆	213			2	
メディア言説論 ☆	213			2	
日本語学概論 A ☆	212		2		
日本語学概論 B ☆	212		2		
日本語学講読 A ☆	212		2		
日本語学講読 B ☆	212		2		
日本語史 A ☆	211	2			
日本語史 B ☆	211	2			
日本語学講義 A ☆	212		2		
日本語学講義 B ☆	212		2		
日本語学講義 C ☆	212		2		
日本語学講義 D ☆	212		2		
日本語学講義 E ☆	212		2		

近現代文化コース科目群

日本語学・日本語教育コース科目群

展開科目					
<ul style="list-style-type: none"> ・所属コース展開科目群から6単位選択必修 ・全ての展開科目から10単位選択必修 					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
書道史 ☆	212		2		
書論 ☆	212		2		
生涯学習概論 ☆	212		2		
図書館概論 ☆	211	2			
図書館情報技術論 ☆	212		2		
図書館制度・経営論 ☆	213			2	
図書館サービス概論 ☆	212		2		
情報サービス論 ☆	212		2		
児童サービス論 ☆	213			2	
情報サービス演習(1) ☆	213			1	
情報サービス演習(2) ☆	213			1	
図書館情報資源概論 ☆	211	2			
情報資源組織論 ☆	213			2	
情報資源組織演習(1) ☆	213			1	
情報資源組織演習(2) ☆	213			1	
図書館基礎特論 ☆	212	2			
図書館サービス演習 ☆	212		1		
図書館情報資源特論 ☆	212	2			
図書・図書館史 ☆	211	1			
図書館施設論 ☆	212	1			
学校経営と学校図書館 ☆	213			2	
学校図書館メディアの構成 ☆	213			2	
学習指導と学校図書館 ☆	213			2	
読書と豊かな人間性 ☆	213			2	
情報メディアの活用 ☆	213			2	
博物館概論 ☆	211	2			
博物館経営論 ☆	213			2	
博物館資料論 ☆	212	2			

コース共通科目群

展開科目						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
コース 共通科目群	博物館資料保存論 ☆	212		2		
	博物館展示論 ☆	212		2		
	博物館情報・メディア論 ☆	213			2	
	博物館教育論 ☆	213			2	
	博物館実習(1) ☆	213			2	
	博物館実習(2) ☆	213				1
古典文化 コース科目群	日本文化総論 ☆	212			2	
	古典特殊講義 A ☆	213				2
	古典特殊講義 B ☆	213				2
	古典特殊講義 C ☆	213				2
	古典特殊講義 D ☆	213				2
	日本民俗学 A ☆	213				2
	日本民俗学 B ☆	213				2
	日本美術史 A ☆	213				2
	日本美術史 B ☆	213				2
	古典芸術論 ☆	213			2	
	日本書誌学 ☆	213				2

展開科目						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
近現代文化 コース科目群	近現代特殊講義 A ☆	213				2
	近現代特殊講義 B ☆	213				2
	近現代特殊講義 C ☆	213				2
	近現代特殊講義 D ☆	213				2
	ポップカルチャー論 A ☆	213			2	
	ポップカルチャー論 B ☆	213			2	
	日本文化創造 A ☆	213				2
	日本文化創造 B ☆	213				2
	現代芸術論 A ☆	212		2		
	現代芸術論 B ☆	212		2		
日本語学・ 日本語教育 コース科目群	日本語学特殊講義 A ☆	213				2
	日本語学特殊講義 B ☆	213				2
	日本語学特殊講義 C ☆	213				2
	日本語学特殊講義 D ☆	213				2
	日本語学特殊講義 E ☆	213			2	
	Cross-Cultural Communication ☆	212		2		
	日本語教育入門 ☆	211	2			
	日本語教授法 ☆	212		2		
	世界の日本語教育 ☆	212		2		
	日本語の音声・文字 ☆	212			2	
	日本語文法 ☆	212			2	
	日本語教育の諸問題 ☆	213			2	
	日本語教育演習 A ☆	213				1
	日本語教育演習 B ☆	213				1
国内日本語教育実習 ☆	213				2	
海外日本語教育実習 ☆	213				2	

展開科目					
授業科目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
西洋音楽史入門 ☆	212	2			
西洋美術史 A ☆	212	2			
西洋美術史 B ☆	212	2			
中国語文化入門 ☆	212	2			
フランス語文化入門 ☆	212	2			
ドイツ語文化入門 ☆	212	2			
ヨーロッパの文化と芸術 ☆	213		2		
民族と芸術 ☆	213		2		
金城シネマ ☆	212		2		
日本の多文化事情 ☆	213		2		
世界と日本のクラシック ☆	212		2		
英米文化研究 A ☆	213		2		
英米文化研究 B ☆	213		2		
英米文化研究 C ☆	213		2		
英米文化研究 D ☆	213		2		
英米文化研究 E ☆	213		2		
英語語彙研究 ☆	213		2		
英語意味研究 ☆	213		2		
地中海文化入門 ☆	212		2		
イタリア文化入門 ☆	212		2		
イタリア語入門(1) ☆	212		1		
イタリア語入門(2) ☆	212		1		

リベラルアーツ科目群

演習科目					
12単位必修					
授業科目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
日本文化演習 A ☆	212		1		
日本文化演習 B ☆	212		1		
日本文化専門演習 A ☆	213			1	
日本文化専門演習 B ☆	213			1	
卒業論文演習 A ☆	213				1
卒業論文演習 B ☆	213				1
卒業論文 ☆	213				6

備考：2年次より古典文化コース、近現代文化コース、日本語学・日本語教育コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。コース分けは1年次後期に行う。

3 近現代文化コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目						
8単位必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
古典文化入門★	211	2				
近現代文化入門★	211	2				
日本語学入門★	211	2				
日本文化通史★	211	2				

基幹科目						
2単位必修 4単位選択必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
キャリア・リテラシー科目群	言語の技法 A★	211	1			
	言語の技法 B★	211	1			
	日文キャリア☆	211	2			
	人文系メディア・リテラシーA☆	212		2		
	人文系メディア・リテラシーB☆	212		2		
	論文の作法 A☆	212			1	
	論文の作法 B☆	212			1	

基幹科目						
4単位選択必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
実習科目群	日本文化実習 A☆	211	1			
	日本文化実習 B☆	211	1			
	日本文化実習 C☆	211	1			
	日本文化実習 D☆	211	1			
	書道 A☆	211	1			
	書道 B☆	211	1			
	書道 C☆	212		1		
	書道 D☆	212		1		

基幹科目						
・所属コース科目群から8単位必修、 加えて8単位選択必修 ・他コース科目群も含めた中から8単位選択必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
古典文化コース科目群	古典文化概論☆	212		2		
	古典文学概論☆	212		2		
	古典文化史☆	211	2			
	古典文学史☆	211	2			
	古典文化講読 A☆	212		2		
	古典文化講読 B☆	212		2		
	古典文学講読 A☆	212		2		
	古典文学講読 B☆	212		2		
	古典文化講義 A☆	212		2		
	古典文化講義 B☆	212		2		
	漢文学概論 A☆	212		2		
	漢文学概論 B☆	212		2		
	漢文学史☆	212		2		
	漢文学講読☆	212		2		

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
近現代文化概論★	212		2		
近現代文学概論★	212		2		
近現代文化史★	211	2			
近現代文学史★	211	2			
近現代文化研究A☆	212		2		
近現代文化研究B☆	212		2		
近現代文学講読A☆	212		2		
近現代文学講読B☆	212		2		
近現代文化講義A☆	212		2		
近現代文化講義B☆	212		2		
比較文化・文学理論☆	213			2	
メディア言説論☆	213			2	
日本語学概論A☆	212		2		
日本語学概論B☆	212		2		
日本語学講読A☆	212		2		
日本語学講読B☆	212		2		
日本語史A☆	211	2			
日本語史B☆	211	2			
日本語学講義A☆	212		2		
日本語学講義B☆	212		2		
日本語学講義C☆	212		2		
日本語学講義D☆	212		2		
日本語学講義E☆	212		2		

近現代文化コース科目群

日本語学・日本語教育コース科目群

展開科目					
<ul style="list-style-type: none"> ・所属コース展開科目群から6単位選択必修 ・全ての展開科目から10単位選択必修 					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
書道史☆	212		2		
書論☆	212		2		
生涯学習概論☆	212		2		
図書館概論☆	211	2			
図書館情報技術論☆	212		2		
図書館制度・経営論☆	213			2	
図書館サービス概論☆	212		2		
情報サービス論☆	212		2		
児童サービス論☆	213			2	
情報サービス演習(1)☆	213			1	
情報サービス演習(2)☆	213			1	
図書館情報資源概論☆	211	2			
情報資源組織論☆	213			2	
情報資源組織演習(1)☆	213			1	
情報資源組織演習(2)☆	213			1	
図書館基礎特論☆	212	2			
図書館サービス演習☆	212		1		
図書館情報資源特論☆	212	2			
図書・図書館史☆	211	1			
図書館施設論☆	212	1			
学校経営と学校図書館☆	213			2	
学校図書館メディアの構成☆	213			2	
学習指導と学校図書館☆	213			2	
読書と豊かな人間性☆	213			2	
情報メディアの活用☆	213			2	
博物館概論☆	211	2			
博物館経営論☆	213			2	
博物館資料論☆	212	2			

コース共通科目群

展開科目						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
コース共通科目群	博物館資料保存論 ☆	212		2		
	博物館展示論 ☆	212		2		
	博物館情報・メディア論 ☆	213			2	
	博物館教育論 ☆	213			2	
	博物館実習(1) ☆	213			2	
	博物館実習(2) ☆	213				1
古典文化コース科目群	日本文化総論 ☆	212			2	
	古典特殊講義 A ☆	213				2
	古典特殊講義 B ☆	213				2
	古典特殊講義 C ☆	213				2
	古典特殊講義 D ☆	213				2
	日本民俗学 A ☆	213				2
	日本民俗学 B ☆	213				2
	日本美術史 A ☆	213				2
	日本美術史 B ☆	213				2
	古典芸術論 ☆	213			2	
	日本書誌学 ☆	213			2	

展開科目						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
近現代文化コース科目群	近現代特殊講義 A ☆	213				2
	近現代特殊講義 B ☆	213				2
	近現代特殊講義 C ☆	213				2
	近現代特殊講義 D ☆	213				2
	ポップカルチャー論 A ☆	213			2	
	ポップカルチャー論 B ☆	213			2	
	日本文化創造 A ☆	213				2
	日本文化創造 B ☆	213				2
	現代芸術論 A ☆	212		2		
	現代芸術論 B ☆	212		2		
日本語学・日本語教育コース科目群	日本語学特殊講義 A ☆	213				2
	日本語学特殊講義 B ☆	213				2
	日本語学特殊講義 C ☆	213				2
	日本語学特殊講義 D ☆	213				2
	日本語学特殊講義 E ☆	213			2	
	Cross-Cultural Communication ☆	212		2		
	日本語教育入門 ☆	211	2			
	日本語教授法 ☆	212		2		
	世界の日本語教育 ☆	212		2		
	日本語の音声・文字 ☆	212			2	
	日本語文法 ☆	212			2	
	日本語教育の諸問題 ☆	213			2	
	日本語教育演習 A ☆	213				1
	日本語教育演習 B ☆	213				1
国内日本語教育実習 ☆	213				2	
海外日本語教育実習 ☆	213				2	

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
西洋音楽史入門 ☆	212	2			
西洋美術史 A ☆	212	2			
西洋美術史 B ☆	212	2			
中国語文化入門 ☆	212	2			
フランス語文化入門 ☆	212	2			
ドイツ語文化入門 ☆	212	2			
ヨーロッパの文化と芸術 ☆	213		2		
民族と芸術 ☆	213		2		
金城シネマ ☆	212		2		
日本の多文化事情 ☆	213		2		
世界と日本のクラシック ☆	212		2		
英米文化研究 A ☆	213		2		
英米文化研究 B ☆	213		2		
英米文化研究 C ☆	213		2		
英米文化研究 D ☆	213		2		
英米文化研究 E ☆	213		2		
英語語彙研究 ☆	213		2		
英語意味研究 ☆	213		2		
地中海文化入門 ☆	212		2		
イタリア文化入門 ☆	212		2		
イタリア語入門(1) ☆	212		1		
イタリア語入門(2) ☆	212		1		

リベラルアーツ科目群

演習科目					
12単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
日本文化演習 A ☆	212		1		
日本文化演習 B ☆	212		1		
日本文化専門演習 A ☆	213			1	
日本文化専門演習 B ☆	213			1	
卒業論文演習 A ☆	213				1
卒業論文演習 B ☆	213				1
卒業論文 ☆	213				6

備考：2年次より古典文化コース、近現代文化コース、日本語学・日本語教育コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。コース分けは1年次後期に行う。

4 日本語学・日本語教育コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目						
8単位必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
古典文化入門★	211	2				
近現代文化入門★	211	2				
日本語学入門★	211	2				
日本文化通史★	211	2				

基幹科目						
2単位必修 4単位選択必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
キャリア・リテラシー科目群	言語の技法 A★	211	1			
	言語の技法 B★	211	1			
	日文キャリア☆	211	2			
	人文系メディア・リテラシーA☆	212		2		
	人文系メディア・リテラシーB☆	212		2		
	論文の作法 A☆	212			1	
	論文の作法 B☆	212			1	

基幹科目						
4単位選択必修						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
実習科目群	日本文化実習 A☆	211	1			
	日本文化実習 B☆	211	1			
	日本文化実習 C☆	211	1			
	日本文化実習 D☆	211	1			
	書道 A☆	211	1			
	書道 B☆	211	1			
	書道 C☆	212		1		
	書道 D☆	212		1		

基幹科目						
<ul style="list-style-type: none"> 所属コース科目群から8単位必修、 加えて8単位選択必修 他コース科目群も含めた中から8単位選択必修 						
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
古典文化コース科目群	古典文化概論☆	212		2		
	古典文学概論☆	212		2		
	古典文化史☆	211	2			
	古典文学史☆	211	2			
	古典文化講読 A☆	212		2		
	古典文化講読 B☆	212		2		
	古典文学講読 A☆	212		2		
	古典文学講読 B☆	212		2		
	古典文化講義 A☆	212		2		
	古典文化講義 B☆	212		2		
	漢文学概論 A☆	212		2		
	漢文学概論 B☆	212		2		
	漢文学史☆	212		2		
	漢文学講読☆	212		2		

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
近現代文化概論 ☆	212		2		
近現代文学概論 ☆	212		2		
近現代文化史 ☆	211	2			
近現代文学史 ☆	211	2			
近現代文化研究 A ☆	212		2		
近現代文化研究 B ☆	212		2		
近現代文学講読 A ☆	212		2		
近現代文学講読 B ☆	212		2		
近現代文化講義 A ☆	212		2		
近現代文化講義 B ☆	212		2		
比較文化・文学理論 ☆	213			2	
メディア言説論 ☆	213			2	
日本語学概論 A ★	212		2		
日本語学概論 B ★	212		2		
日本語学講読 A ★	212		2		
日本語学講読 B ★	212		2		
日本語史 A ☆	211	2			
日本語史 B ☆	211	2			
日本語学講義 A ☆	212		2		
日本語学講義 B ☆	212		2		
日本語学講義 C ☆	212		2		
日本語学講義 D ☆	212		2		
日本語学講義 E ☆	212		2		

近現代文化コース科目群

日本語学・日本語教育コース科目群

展開科目					
<ul style="list-style-type: none"> ・所属コース展開科目群から6単位選択必修 ・全ての展開科目から10単位選択必修 					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
書道史 ☆	212		2		
書論 ☆	212		2		
生涯学習概論 ☆	212		2		
図書館概論 ☆	211	2			
図書館情報技術論 ☆	212		2		
図書館制度・経営論 ☆	213			2	
図書館サービス概論 ☆	212		2		
情報サービス論 ☆	212		2		
児童サービス論 ☆	213			2	
情報サービス演習(1) ☆	213			1	
情報サービス演習(2) ☆	213			1	
図書館情報資源概論 ☆	211	2			
情報資源組織論 ☆	213			2	
情報資源組織演習(1) ☆	213			1	
情報資源組織演習(2) ☆	213			1	
図書館基礎特論 ☆	212	2			
図書館サービス演習 ☆	212		1		
図書館情報資源特論 ☆	212	2			
図書・図書館史 ☆	211	1			
図書館施設論 ☆	212	1			
学校経営と学校図書館 ☆	213			2	
学校図書館メディアの構成 ☆	213			2	
学習指導と学校図書館 ☆	213			2	
読書と豊かな人間性 ☆	213			2	
情報メディアの活用 ☆	213			2	
博物館概論 ☆	211	2			
博物館経営論 ☆	213			2	
博物館資料論 ☆	212	2			

コース共通科目群

展開科目						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
コース共通科目群	博物館資料保存論 ☆	212		2		
	博物館展示論 ☆	212		2		
	博物館情報・メディア論 ☆	213			2	
	博物館教育論 ☆	213			2	
	博物館実習(1) ☆	213			2	
	博物館実習(2) ☆	213				1
古典文化コース科目群	日本文化総論 ☆	212			2	
	古典特殊講義 A ☆	213				2
	古典特殊講義 B ☆	213				2
	古典特殊講義 C ☆	213				2
	古典特殊講義 D ☆	213				2
	日本民俗学 A ☆	213				2
	日本民俗学 B ☆	213				2
	日本美術史 A ☆	213				2
	日本美術史 B ☆	213				2
	古典芸術論 ☆	213			2	
	日本書誌学 ☆	213				2

展開科目						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
近現代文化コース科目群	近現代特殊講義 A ☆	213				2
	近現代特殊講義 B ☆	213				2
	近現代特殊講義 C ☆	213				2
	近現代特殊講義 D ☆	213				2
	ポップカルチャー論 A ☆	213			2	
	ポップカルチャー論 B ☆	213			2	
	日本文化創造 A ☆	213				2
	日本文化創造 B ☆	213				2
	現代芸術論 A ☆	212		2		
	現代芸術論 B ☆	212		2		
日本語学・日本語教育コース科目群	日本語学特殊講義 A ☆	213				2
	日本語学特殊講義 B ☆	213				2
	日本語学特殊講義 C ☆	213				2
	日本語学特殊講義 D ☆	213				2
	日本語学特殊講義 E ☆	213			2	
	Cross-Cultural Communication ☆	212		2		
	日本語教育入門 ☆	211	2			
	日本語教授法 ☆	212		2		
	世界の日本語教育 ☆	212		2		
	日本語の音声・文字 ☆	212			2	
	日本語文法 ☆	212			2	
	日本語教育の諸問題 ☆	213			2	
	日本語教育演習 A ☆	213				1
	日本語教育演習 B ☆	213				1
国内日本語教育実習 ☆	213				2	
海外日本語教育実習 ☆	213				2	

展開科目					
授業科目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
西洋音楽史入門 ☆	212	2			
西洋美術史 A ☆	212	2			
西洋美術史 B ☆	212	2			
中国語文化入門 ☆	212	2			
フランス語文化入門 ☆	212	2			
ドイツ語文化入門 ☆	212	2			
ヨーロッパの文化と芸術 ☆	213		2		
民族と芸術 ☆	213		2		
金城シネマ ☆	212		2		
日本の多文化事情 ☆	213		2		
世界と日本のクラシック ☆	212		2		
英米文化研究 A ☆	213		2		
英米文化研究 B ☆	213		2		
英米文化研究 C ☆	213		2		
英米文化研究 D ☆	213		2		
英米文化研究 E ☆	213		2		
英語語彙研究 ☆	213		2		
英語意味研究 ☆	213		2		
地中海文化入門 ☆	212		2		
イタリア文化入門 ☆	212		2		
イタリア語入門(1) ☆	212		1		
イタリア語入門(2) ☆	212		1		

リベラルアーツ科目群

演習科目					
12単位必修					
授業科目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
日本文化演習 A ☆	212		1		
日本文化演習 B ☆	212		1		
日本文化専門演習 A ☆	213			1	
日本文化専門演習 B ☆	213			1	
卒業論文演習 A ☆	213				1
卒業論文演習 B ☆	213				1
卒業論文 ☆	213				6

備考：2年次より古典文化コース、近現代文化コース、日本語学・日本語教育コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。コース分けは1年次後期に行う。

5 英米文化研究コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目					
8単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
英語圏文化入門★	221	2			
英米文学の世界★	221	2			
英語研究入門A★	221	2			
英語研究入門B★	221	2			

基幹科目					
31単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
Teacher-Student English Interview★	221	1			
Reading/Writing (1)★	221	1			
Reading/Writing (2)★	221	1			
Reading/Writing (3)★	222		1		
Reading/Writing (4)★	222		1		
Reading/Writing (5)★	223			1	
Reading/Writing (6)★	223			1	
Reading/Writing (7)★	223				1
Reading/Writing (8)★	223				1
Speaking/Writing (1)★	221	1			
Speaking/Writing (2)★	221	1			
Speaking/Writing (3)★	222		1		
Speaking/Writing (4)★	222		1		
Speaking/Writing (5)★	223			1	
Speaking/Writing (6)★	223			1	
Speaking/Writing (7)★	223				1
Speaking/Writing (8)★	223				1

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
Listening/Pronunciation (1)★	221	1			
Listening/Pronunciation (2)★	221	1			
Extensive English (1)★	222		1		
Extensive English (2)★	222		1		
Business Communication (1)★	221	1			
Business Communication (2)★	221	1			
Business Communication (3)★	222		1		
Business Communication (4)★	222		1		
Business Communication (5)★	223			1	
Business Communication (6)★	223			1	
Business Communication (7)★	223				1
Business Communication (8)★	223				1
English Grammar (1)★	221	1			
English Grammar (2)★	221	1			
留学のための英語	222	1			
基礎英文法	221	1			
TOEFL・IELTS演習	221	1			
Advanced Speaking A	223			1	
Advanced Speaking B	223			1	

展開科目					
<ul style="list-style-type: none"> ・所属コース展開科目から8単位必修 ・所属コースの展開科目のうち、必修科目を除く科目から8単位選択必修。および全ての展開科目から9単位(英語スペシャリスト養成プログラム履修者は5単位)選択必修 					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
通訳入門(1) ☆	222		2		
通訳入門(2) ☆	222		2		
翻訳入門(1) ☆	222		2		
翻訳入門(2) ☆	222		2		
翻訳演習(1) ☆	223			1	
翻訳演習(2) ☆	223			1	
翻訳演習(3) ☆	223				1
翻訳演習(4) ☆	223				1
英語教育研究 A ☆	223		2		
英語教育研究 B ☆	223		2		
Topics in Language and Culture A ☆	223		2		
Topics in Language and Culture B ☆	223		2		
Topics in Language and Culture C ☆	223		2		
Topics in Language and Culture D ☆	223		2		
アメリカ経済論 ☆	222			2	
アメリカ社会論 ☆	222			2	
異文化間コミュニケーション ☆	222		2		
異文化理解 A ☆	223		2		
異文化理解 B ☆	223		2		
異文化理解 C ☆	223		2		
異文化理解 D ☆	223		2		
異文化理解 E ☆	223				2
異文化理解 F ☆	223		2		

学科共通展開科目

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
古典文化講読 A ☆	222		2		
古典文化講読 B ☆	222		2		
古典文学講読 A ☆	222		2		
古典文学講読 B ☆	222		2		
近現代文化講義 A ☆	222		2		
近現代文化講義 B ☆	222		2		
現代芸術論 A ☆	222		2		
現代芸術論 B ☆	222		2		
民族と芸術 ☆	223			2	
金城シネマ ☆	222		2		
日本の多文化事情 ☆	223		2		
世界と日本のクラシック ☆	222		2		
中国語文化入門 ☆	221	2			
フランス語文化入門 ☆	221	2			
ドイツ語文化入門 ☆	221	2			
イタリア文化入門 ☆	223			2	
地中海文化入門 ☆	223			2	
日本語教育入門 ☆	221	2			
日本語教授法 ☆	222		2		
世界の日本語教育 ☆	222		2		
イタリア語入門(1) ☆	222		1		
イタリア語入門(2) ☆	222		1		

文学部リベラルアーツ科目群
学科共通展開科目

展開科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
イギリス文化概論★	222		2		
イギリス文学概論★	222		2		
アメリカ文化概論★	222		2		
アメリカ文学概論★	222		2		
英米文化研究 A★	222		2		
英米文化研究 B★	222		2		
英米文化研究 C★	222		2		
英米文化研究 D★	222		2		
英米文化研究 E★	222		2		
英米文学研究 A★	223			2	
英米文学研究 B★	223			2	
英米文学研究 C★	223		2		
英米文学研究 D★	223		2		
英米文学研究 E★	222		2		
英米文学研究 F★	222		2		
英米文学研究 G★	222		2		
日英文化研究 A★	223			2	
日英文化研究 B★	223			2	
日米文化研究 A★	223			2	
日米文化研究 B★	223			2	
ヨーロッパの文化と芸術★	222		2		
西洋美術史 A★	221	2			
西洋美術史 B★	221	2			
西洋音楽史入門★	221	2			

英米文化研究コース展開科目

展開科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
英語構造研究(1)★	222		2		
英語構造研究(2)★	222		2		
英語音声研究(1)★	222		2		
英語音声研究(2)★	222		2		
英語語彙研究★	222			2	
英語意味研究★	222			2	
言語コミュニケーション理論A★	223			2	
言語コミュニケーション理論B★	223			2	
言語習得特論 A★	223				2
言語習得特論 B★	223				2
英語学特殊研究 A★	223				2
英語学特殊研究 B★	223				2
日本語学特殊講義 A★	223				2
日本語学特殊講義 B★	223				2
日本語学特殊講義 C★	223			2	
日本語学特殊講義 D★	223			2	
日本語学特殊講義 E★	223				2
日本語の音声・文字★	223				2
日本語文法★	223				2
日本語教育の諸問題★	223				2
世界の英語★	223				2
社会言語学研究★	223				2
Cross-Cultural Communication★	222		2		

英語研究コース展開科目

展開科目						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
キッズ・イングリッシュ・プログラム 履修科目	早期英語教育研究 ☆	223			2	
	早期英語教育教材研究 ☆	223			2	
	Classroom English ☆	223				1
	早期英語教育実習 ☆	223				1
	小 学 校 英 語 ☆	222		2		
エアラインプログラム 展開科目	English for Hospitality ☆	222		1		
	コミュニケーションスキル ☆	222		1		
	エアラインビジネス論 ☆	222		2		
	エアラインサービス論 ☆	223			2	
	ホスピタリティ論 ☆	223			2	
	サービスコミュニケーション論 ☆	223			2	
	サービスコミュニケーション演習 ☆	223			1	
	エアライン実地研修 ☆	223			1	

演習科目						
英語スペシャリスト養成プログラム履修者は8単位必修						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
	通 訳 演 習 A (1) ☆	223			1	
	通 訳 演 習 A (2) ☆	223			1	
	通 訳 演 習 A (3) ☆	223				1
	通 訳 演 習 A (4) ☆	223				1
	通 訳 演 習 B (1) ☆	223			1	
	通 訳 演 習 B (2) ☆	223			1	
	通 訳 演 習 B (3) ☆	223				1
	通 訳 演 習 B (4) ☆	223				1

演習科目						
2単位必修						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
	基 礎 演 習 (1) ★	221	1			
	基 礎 演 習 (2) ★	221	1			

演習科目						
4単位必修 (ただし、英語スペシャリスト養成プログラム履修者は除く)						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
	専 門 演 習 (1) ★	223			1	
	専 門 演 習 (2) ★	223			1	
	専 門 演 習 (3) ★	223				1
	専 門 演 習 (4) ★	223				1
	卒 業 研 究	223				6

- 備考：①Business Communication(1)～(8)の単位修得のための必須条件として、1年次から4年次にかけて英語英米文化学科が指定する年2回のTOEIC L&Rを受験することとする。
- ②2年次より英米文化研究コース、英語研究コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。そのためのコース分けを1年次後期に行う。
- ③英語英米文化学科に、英語スペシャリスト養成プログラム、エアラインプログラム、及びキッズ・イングリッシュ・プログラムを設置する。

6 英語研究コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目					
8単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
英語圏文化入門★	221	2			
英米文学の世界★	221	2			
英語研究入門A★	221	2			
英語研究入門B★	221	2			

基幹科目					
31単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
Teacher-Student English Interview★	221	1			
Reading/Writing (1)★	221	1			
Reading/Writing (2)★	221	1			
Reading/Writing (3)★	222		1		
Reading/Writing (4)★	222		1		
Reading/Writing (5)★	223			1	
Reading/Writing (6)★	223			1	
Reading/Writing (7)★	223				1
Reading/Writing (8)★	223				1
Speaking/Writing (1)★	221	1			
Speaking/Writing (2)★	221	1			
Speaking/Writing (3)★	222		1		
Speaking/Writing (4)★	222		1		
Speaking/Writing (5)★	223			1	
Speaking/Writing (6)★	223			1	
Speaking/Writing (7)★	223				1
Speaking/Writing (8)★	223				1

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
Listening/Pronunciation (1)★	221	1			
Listening/Pronunciation (2)★	221	1			
Extensive English (1)★	222		1		
Extensive English (2)★	222		1		
Business Communication (1)★	221	1			
Business Communication (2)★	221	1			
Business Communication (3)★	222		1		
Business Communication (4)★	222		1		
Business Communication (5)★	223			1	
Business Communication (6)★	223			1	
Business Communication (7)★	223				1
Business Communication (8)★	223				1
English Grammar (1)★	221	1			
English Grammar (2)★	221	1			
留学のための英語	222	1			
基礎英文法	221	1			
TOEFL・IELTS演習	221	1			
Advanced Speaking A	223			1	
Advanced Speaking B	223			1	

展開科目					
<ul style="list-style-type: none"> ・所属コース展開科目から8単位必修 ・所属コースの展開科目のうち、必修科目を除く科目から6単位選択必修。および全ての展開科目から11単位(英語スペシャリスト養成プログラム履修者は7単位)選択必修 					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
通訳入門(1) ☆	222		2		
通訳入門(2) ☆	222		2		
翻訳入門(1) ☆	222		2		
翻訳入門(2) ☆	222		2		
翻訳演習(1) ☆	223			1	
翻訳演習(2) ☆	223			1	
翻訳演習(3) ☆	223				1
翻訳演習(4) ☆	223				1
英語教育研究 A ☆	223		2		
英語教育研究 B ☆	223		2		
Topics in Language and Culture A ☆	223		2		
Topics in Language and Culture B ☆	223		2		
Topics in Language and Culture C ☆	223		2		
Topics in Language and Culture D ☆	223		2		
アメリカ経済論 ☆	222			2	
アメリカ社会論 ☆	222			2	
異文化間コミュニケーション ☆	222		2		
異文化理解 A ☆	223		2		
異文化理解 B ☆	223		2		
異文化理解 C ☆	223		2		
異文化理解 D ☆	223		2		
異文化理解 E ☆	223				2
異文化理解 F ☆	223		2		

学科共通展開科目

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
古典文化講読 A ☆	222		2		
古典文化講読 B ☆	222		2		
古典文学講読 A ☆	222		2		
古典文学講読 B ☆	222		2		
近現代文化講義 A ☆	222		2		
近現代文化講義 B ☆	222		2		
現代芸術論 A ☆	222		2		
現代芸術論 B ☆	222		2		
民族と芸術 ☆	223			2	
金城シネマ ☆	222		2		
日本の多文化事情 ☆	223		2		
世界と日本のクラシック ☆	222		2		
中国語文化入門 ☆	221	2			
フランス語文化入門 ☆	221	2			
ドイツ語文化入門 ☆	221	2			
イタリア文化入門 ☆	223			2	
地中海文化入門 ☆	223			2	
日本語教育入門 ☆	221	2			
日本語教授法 ☆	222		2		
世界の日本語教育 ☆	222		2		
イタリア語入門(1) ☆	222		1		
イタリア語入門(2) ☆	222		1		

文学部リベラルアーツ科目群
学科共通展開科目

展開科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
イギリス文化概論 ☆	222		2		
イギリス文学概論 ☆	222		2		
アメリカ文化概論 ☆	222		2		
アメリカ文学概論 ☆	222		2		
英米文化研究 A ☆	222		2		
英米文化研究 B ☆	222		2		
英米文化研究 C ☆	222		2		
英米文化研究 D ☆	222		2		
英米文化研究 E ☆	222		2		
英米文学研究 A ☆	223			2	
英米文学研究 B ☆	223			2	
英米文学研究 C ☆	223		2		
英米文学研究 D ☆	223		2		
英米文学研究 E ☆	222		2		
英米文学研究 F ☆	222		2		
英米文学研究 G ☆	222		2		
日英文化研究 A ☆	223			2	
日英文化研究 B ☆	223			2	
日米文化研究 A ☆	223			2	
日米文化研究 B ☆	223			2	
ヨーロッパの文化と芸術 ☆	222		2		
西洋美術史 A ☆	221	2			
西洋美術史 B ☆	221	2			
西洋音楽史入門 ☆	221	2			

英米文化研究コース展開科目

展開科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
英語構造研究 (1) ★	222		2		
英語構造研究 (2) ★	222		2		
英語音声研究 (1) ★	222		2		
英語音声研究 (2) ★	222		2		
英語語彙研究 ☆	222		2		
英語意味研究 ☆	222		2		
言語コミュニケーション理論A ☆	223		2		
言語コミュニケーション理論B ☆	223		2		
言語習得特論 A ☆	223			2	
言語習得特論 B ☆	223			2	
英語学特殊研究 A ☆	223			2	
英語学特殊研究 B ☆	223			2	
日本語学特殊講義 A ☆	223			2	
日本語学特殊講義 B ☆	223			2	
日本語学特殊講義 C ☆	223		2		
日本語学特殊講義 D ☆	223		2		
日本語学特殊講義 E ☆	223			2	
日本語の音声・文字 ☆	223			2	
日本語文法 ☆	223			2	
日本語教育の諸問題 ☆	223			2	
世界の英語 ☆	223			2	
社会言語学研究 ☆	223		2		
Cross-Cultural Communication ☆	222		2		

英語研究コース展開科目

展開科目						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
キッズ・イングリッシュ・プログラム展開科目	早期英語教育研究 ☆	223			2	
	早期英語教育教材研究 ☆	223			2	
	Classroom English ☆	223				1
	早期英語教育実習 ☆	223				1
	小 学 校 英 語 ☆	222	2			
エアラインプログラム展開科目	English for Hospitality ☆	222	1			
	コミュニケーションスキル ☆	222	1			
	エアラインビジネス論 ☆	222	2			
	エアラインサービス論 ☆	223			2	
	ホスピタリティ論 ☆	223			2	
	サービスコミュニケーション論 ☆	223			2	
	サービスコミュニケーション演習 ☆	223			1	
	エアライン実地研修 ☆	223			1	

演習科目						
英語スペシャリスト養成プログラム履修者は8単位必修						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
	通 訳 演 習 A (1) ☆	223			1	
	通 訳 演 習 A (2) ☆	223			1	
	通 訳 演 習 A (3) ☆	223				1
	通 訳 演 習 A (4) ☆	223				1
	通 訳 演 習 B (1) ☆	223			1	
	通 訳 演 習 B (2) ☆	223			1	
	通 訳 演 習 B (3) ☆	223				1
	通 訳 演 習 B (4) ☆	223				1

演習科目						
2単位必修						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
	基 礎 演 習 (1) ★	221	1			
	基 礎 演 習 (2) ★	221	1			

演習科目						
4単位必修 (ただし、英語スペシャリスト養成プログラム履修者は除く)						
	授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
	専 門 演 習 (1) ★	223			1	
	専 門 演 習 (2) ★	223			1	
	専 門 演 習 (3) ★	223				1
	専 門 演 習 (4) ★	223				1
	卒 業 研 究	223				6

- 備考：①Business Communication(1)~(8)の単位修得のための必須条件として、1年次から4年次にかけて英語英米文化学科が指定する年2回のTOEIC L&Rを受験することとする。
- ②2年次より英米文化研究コース、英語研究コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。そのためのコース分けを1年次後期に行う。
- ③英語英米文化学科に、英語スペシャリスト養成プログラム、エアラインプログラム、及びキッズ・イングリッシュ・プログラムを設置する。

7 外国語コミュニケーション学科 課程表

科目名の★印は必修、★以外の印は選択必修

基礎科目					
必修6単位 選択必修4単位					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
海洋コース入門★	251	2			
大陸コース入門★	251	2			
ディベート入門★	251	2			
ディベートA☆	252		2		
ディベートB☆	252		2		
中国語文化入門☆	251	2			
フランス語文化入門☆	251	2			
ドイツ語文化入門☆	251	2			

基幹科目					
6単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
初級外国語	Grammar (1)★	252	1		
	Grammar (2)★	252	1		
	Reading (1)★	252	1		
	Reading (2)★	252	1		
	Conversation (1)★	252	1		
	Conversation (2)★	252	1		

基幹科目					
各言語(◆●■)から1言語を選択 6単位選択必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
初級外国語	基礎中国語(1)◆	252	1		
	基礎中国語(2)◆	252	1		
	コミュニケーション中国語A(1)◆	252	1		
	コミュニケーション中国語A(2)◆	252	1		
	コミュニケーション中国語B(1)◆	252	1		
	コミュニケーション中国語B(2)◆	252	1		
	基礎フランス語(1)●	252	1		
	基礎フランス語(2)●	252	1		
	コミュニケーションフランス語A(1)●	252	1		
	コミュニケーションフランス語A(2)●	252	1		
	コミュニケーションフランス語B(1)●	252	1		
	コミュニケーションフランス語B(2)●	252	1		
	基礎ドイツ語(1)■	252	1		
	基礎ドイツ語(2)■	252	1		
	コミュニケーションドイツ語A(1)■	252	1		
	コミュニケーションドイツ語A(2)■	252	1		
コミュニケーションドイツ語B(1)■	252	1			
コミュニケーションドイツ語B(2)■	252	1			

基幹科目						
6単位必修						
授業科目	科目 分類 番号	252	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
中級外国語	Reading and Writing (1)	★		1		
	Reading and Writing (2)	★		1		
	TOEIC Intermediate (1)	★		1		
	TOEIC Intermediate (2)	★		1		
	Oral Presentation (1)	★		1		
	Oral Presentation (2)	★		1		

基幹科目						
各言語(◇○□)から1言語を選択 6単位選択必修						
授業科目	科目 分類 番号	252	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
中級外国語	中級中国語(1)	◇		1		
	中級中国語(2)	◇		1		
	読解中級中国語(1)	◇		1		
	読解中級中国語(2)	◇		1		
	コミュニケーション中級中国語(1)	◇		1		
	コミュニケーション中級中国語(2)	◇		1		
	中級フランス語(1)	○		1		
	中級フランス語(2)	○		1		
	読解中級フランス語(1)	○		1		
	読解中級フランス語(2)	○		1		
	コミュニケーション中級フランス語(1)	○		1		
	コミュニケーション中級フランス語(2)	○		1		
	中級ドイツ語(1)	□		1		
	中級ドイツ語(2)	□		1		
	読解中級ドイツ語(1)	□		1		
	読解中級ドイツ語(2)	□		1		
	コミュニケーション中級ドイツ語(1)	□		1		
	コミュニケーション中級ドイツ語(2)	□		1		

基幹科目						
各言語(◎△▲▽)から1言語を選択 2単位選択必修						
授業科目	科目 分類 番号	253	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
上級外国語	Language Camp	◎		1		
	Advanced English A	◎			1	
	Advanced English B	◎			1	
	上級中国語(1)	△			1	
	上級中国語(2)	△			1	
	上級フランス語(1)	▲			1	
	上級フランス語(2)	▲			1	
	上級ドイツ語(1)	▽			1	
	上級ドイツ語(2)	▽			1	

基幹科目						
海外キャリアアッププログラムから6単位選択必修						
授業科目	科目 分類 番号	252	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
海外キャリアアッププログラム	TOEIC 入門	☆	1			
	TOEFL A	☆	1			
	TOEFL B	☆		1		
	英語スピーチ強化講座 A	☆		1		
	英語スピーチ強化講座 B	☆		1		
	English Communication (1)	☆			1	
	English Communication (2)	☆			1	
	英語圏セメスター留学	☆			10	
	海外キャリアトレーニング(1)	☆		2		
	海外キャリアトレーニング(2)	☆			2	
	検定中国語 A	☆	1			
	検定中国語 B	☆		1		
	検定中国語 C	☆		1		
	検定フランス語 A	☆	1			
	検定フランス語 B	☆		1		
	検定フランス語 C	☆		1		

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
検定ドイツ語 A ☆	252	1			
検定ドイツ語 B ☆	252		1		
検定ドイツ語 C ☆	252		1		
実践中国語 A ☆	252	1			
実践中国語 B ☆	252	1			
実践中国語 C ☆	252		1		
実践中国語 D ☆	252		1		
実践中国語 E ☆	253			1	
実践フランス語 A ☆	252	1			
実践フランス語 B ☆	252	1			
実践フランス語 C ☆	252		1		
実践フランス語 D ☆	252		1		
実践フランス語 E ☆	253			1	
実践ドイツ語 A ☆	252	1			
実践ドイツ語 B ☆	252	1			
実践ドイツ語 C ☆	252		1		
実践ドイツ語 D ☆	252		1		
実践ドイツ語 E ☆	253			1	
コミュニケーション上級中国語 (1) ☆	253			1	
コミュニケーション上級中国語 (2) ☆	253			1	
コミュニケーション上級フランス語 (1) ☆	253			1	
コミュニケーション上級フランス語 (2) ☆	253			1	
コミュニケーション上級ドイツ語 (1) ☆	253			1	
コミュニケーション上級ドイツ語 (2) ☆	253			1	

海外キャリアアッププログラム

展開科目					
理論研究科目群から6単位選択必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
比較文化研究 ☆	252			2	
テクスト論 ☆	252			2	
社会と文化 ☆	252			2	
文化社会学研究 ☆	252			2	
文化人類学研究 ☆	252			2	
社会言語学研究 ☆	252			2	
ポストコロナル研究 ☆	252			2	
民族と芸術 ☆	252			2	
ジェンダー研究 ☆	252			2	

理論研究科目群

展開科目					
地域研究科目群・日本語教育プログラム・英語文化圏科目群・研修科目群・文学部リベラルアーツから18単位選択必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
中国古代文化研究 ☆	252			2	
中国近現代社会研究 ☆	252			2	
華僑・華人文化研究 ☆	252			2	
近世フランス文化研究 ☆	252			2	
近現代フランス文化研究 ☆	252			2	
カリブ海・アフリカ文化研究 ☆	252			2	
中世・近世・近代ドイツ文化研究 ☆	252			2	
近現代ドイツ文化研究 ☆	252			2	
スイス・オーストリア文化研究 ☆	252			2	
イタリア文化入門 ☆	251			2	
地中海文化入門 ☆	251			2	
異文化理解 A ☆	252			2	
異文化理解 B ☆	252			2	
異文化理解 C ☆	252			2	
異文化理解 D ☆	252			2	
異文化理解 E ☆	252			2	
異文化理解 F ☆	252			2	

地域研究科目群

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
日本語教育入門 ☆	251	2			
日本語教授法 ☆	252		2		
世界の日本語教育 ☆	252		2		
日本語の音声・文字 ☆	253			2	
日本語文法 ☆	253			2	
日本語教育の諸問題 ☆	253			2	
日本語教育演習 A ☆	253			1	
日本語教育演習 B ☆	253			1	
日本語学概論 A ☆	252			2	
日本語学概論 B ☆	252			2	
日本語学講読 A ☆	252	2			
日本語学講読 B ☆	252			2	
日本語史 A ☆	252	2			
日本語史 B ☆	252	2			
日本語学講義 A ☆	252	2			
日本語学講義 B ☆	252	2			
日本語学講義 C ☆	252			2	
日本語学講義 D ☆	252	2			
日本語学講義 E ☆	252			2	
国内日本語教育実習 ☆	253			2	
海外日本語教育実習 ☆	253			2	

日本語教育プログラム

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
英語学 ☆	252		2		
英米文学の世界 ☆	252		2		
世界の英語 ☆	253			2	
日英文化研究 A ☆	253			2	
日英文化研究 B ☆	253			2	
日米文化研究 A ☆	253			2	
日米文化研究 B ☆	253			2	
イギリス文化概論 ☆	252		2		
アメリカ文化概論 ☆	252		2		
イギリス文学概論 ☆	252		2		
アメリカ文学概論 ☆	252		2		
海洋文化研修 ☆	252		2		
海外英語研修 ☆	252	2			
海外中国語研修 ☆	252	2			
海外フランス語研修 ☆	252	2			
海外ドイツ語研修 ☆	252	2			
海外短期研修 ☆	252	2			

英語文化圏科目群

研修科目群

大学編

履修要項・
履修案内

大学編

学籍上の
諸手続き

大学編

取扱い
教務事務の

大学編

履修規程

学部編

ポリシー

学部編

卒業要件
単位数(詳細)

学部編

学科独自の
制度

学部編

科目分類番号

学部編

共通教育科目
等の課程表

学部編

専門教育科目の
カリキュラムシリー
および課程表

学部編

教員取得に
関する
教育課程表

学部編

各種資格

展開科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
古 典 文 化 講 読 A ☆	252		2		
古 典 文 化 講 読 B ☆	252		2		
古 典 文 学 講 読 A ☆	252		2		
古 典 文 学 講 読 B ☆	252		2		
近 現 代 文 化 講 義 A ☆	252		2		
近 現 代 文 化 講 義 B ☆	252		2		
現 代 芸 術 論 A ☆	252		2		
現 代 芸 術 論 B ☆	252		2		
英 米 文 化 研 究 A ☆	252		2		
英 米 文 化 研 究 B ☆	252		2		
英 米 文 化 研 究 C ☆	253		2		
英 米 文 化 研 究 D ☆	252		2		
英 米 文 化 研 究 E ☆	252		2		
英 語 語 彙 研 究 ☆	252		2		
英 語 意 味 研 究 ☆	252		2		
金 城 シ ネ マ ☆	252		2		
Cross-Cultural Communication ☆	252		2		
日 本 の 多 文 化 事 情 ☆	252		2		
世 界 と 日 本 の ク ラ シ ッ ク ☆	252		2		
ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 芸 術 ☆	252		2		
イ タ リ ア 語 入 門 (1) ☆	252		1		
イ タ リ ア 語 入 門 (2) ☆	252		1		
西 洋 音 楽 史 入 門 ☆	252	2			
西 洋 美 術 史 A ☆	252	2			
西 洋 美 術 史 B ☆	252	2			

文学部リベラルアーツ

演習科目					
8単位必修					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
基 礎 演 習 (1) ★	252	1			
基 礎 演 習 (2) ★	252	1			
専 門 演 習 (1) ★	252		1		
専 門 演 習 (2) ★	252		1		
専 門 演 習 (3) ★	253			1	
専 門 演 習 (4) ★	253			1	
専 門 演 習 (5) ★	253				1
専 門 演 習 (6) ★	253				1
卒 業 研 究 プ ロ ジ ェ ク ト	253				6

備考：専門演習～について、大陸文化コースと海洋文化コースに分ける。コース分けは1年次後期に行う。

音楽芸術学科

8 ピアノコース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修
各科目区分の条件を満たし、70単位以上を修得すること

基礎科目					
10単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
音楽芸術学★	262	2			
ソルフェージュ★	262	2			
音楽理論★	262	2			
西洋音楽史A★	262		2		
西洋音楽史B★	262		2		

基幹科目					
12単位コース必修 声乐(1)～(8)・管楽器奏法(1)～(8)は履修不可					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ピアノ奏法(1)★	262	2			
ピアノ奏法(2)★	262	2			
ピアノ奏法(3)★	262		2		
ピアノ奏法(4)★	262		2		
ピアノ奏法(5)★	263			2	
ピアノ奏法(6)★	263			2	
ピアノ奏法(7)☆	263				2
ピアノ奏法(8)☆	263				2
声乐(1)	262	2			
声乐(2)	262	2			
声乐(3)	262		2		
声乐(4)	262		2		
声乐(5)	263			2	
声乐(6)	263			2	
声乐(7)	263				2
声乐(8)	263				2

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
管楽器奏法(1)	262	2			
管楽器奏法(2)	262	2			
管楽器奏法(3)	262		2		
管楽器奏法(4)	262		2		
管楽器奏法(5)	263			2	
管楽器奏法(6)	263			2	
管楽器奏法(7)	263				2
管楽器奏法(8)	263				2

演習科目					
1単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
音楽芸術学演習★	263				1
卒業演奏・卒業作品・卒業論文☆	263				6

展開科目					
展開科目から40単位選択必修 (コース必修、▲から2単位選択必修、○から2単位選択必修、△から2単位選択必修を含む)					
授業科目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
和 声 ☆	262		2		
管 弦 楽 編 曲 法 ☆	263		2		
合 唱 編 曲 法 ☆	263		2		
作 曲 学 ☆	263			2	
指 揮 法 (1) ☆	262		2		
指 揮 法 (2) ☆	263			2	
合 唱 ☆	262	2			
合 唱 指 導 法 ☆	263		2		
吹 奏 楽 指 導 法 ☆	263			2	
ティーチング・トレーニング ☆	263			2	
音楽教員育成講座 A ☆	263				2
音楽教員育成講座 B ☆	263				2
副科 ピアノ奏法 A ※履修不可	261	1			
副科 ピアノ奏法 B ※履修不可	261	1			
副科 ピアノ奏法 C ※履修不可	262		1		
副科 ピアノ奏法 D ※履修不可	262		1		
副科 ピアノ奏法 E ※履修不可	263			1	
副科 ピアノ奏法 F ※履修不可	263			1	
副科 声楽基礎 ★	261	1			
副科 声楽応用 A ☆	262		1		
副科 声楽応用 B ☆	262		1		
副科 声楽応用 C ☆	263			1	
副科 声楽応用 D ☆	263			1	

A群(音楽理論/音楽実技)

展開科目					
授業科目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
副 科 管 楽 器 ☆	261		1		
ピアノアンサンブル A ☆	262		2		
ピアノアンサンブル B ☆	262		2		
室内アンサンブル A ☆	263			2	
室内アンサンブル B ☆	263			2	
ステージアクティング ☆	263		2		
オペラ演習 ☆	263			2	
声楽アンサンブル ☆	263			2	
管楽アンサンブル A ※履修不可	263		2		
管楽アンサンブル B ※履修不可	263		2		
管楽アンサンブル C ※履修不可	263		2		
管楽アンサンブル D ※履修不可	263		2		
アンサンブルコンサート演習 A ☆	263		2		
アンサンブルコンサート演習 B ☆	263			2	
邦 楽 A ☆	261			1	
邦 楽 B ☆	261			1	
発 音 法 ☆	262	2			
演奏家のための身体感覚レッスン ☆	262		2		
ピアニストのための脱力法 ☆	262		2		
声 楽 伴 奏 演 習 ★	262		2		
演奏家特別レッスン A ☆	263		1		
演奏家特別レッスン B ☆	263			1	
ピ ア ノ 指 導 法 (1) ☆	262		2		
ピ ア ノ 指 導 法 (2) ☆	263			2	
ピアノ教室レッスン実習 ☆	263			2	

A群(音楽理論/音楽実技)

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ヤマハグレード取得講座A ☆	262	1			
ヤマハグレード取得講座B ☆	262	1			
ヤマハグレード取得講座C ☆	262	1			
ヤマハグレード取得講座D ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座E ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座F ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座G ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座H ☆	263		1		
ヤマハグレード取得講座I ☆	263		1		
ヤマハグレード取得講座J ☆	263		1		
古典舞踏 ☆	262				2
リトミック ☆	262		2		

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ヨーロッパの文化と芸術 ▲	262		2		
ドイツ語文化入門 ▲	261	2			
フランス語文化入門 ▲	261	2			
イタリア文化入門 ▲	261		2		
イタリア語入門(1) ☆	261		1		
イタリア語入門(2) ☆	261		1		
西洋音楽史入門 ☆	261	2			
クラシック音楽研究 ☆	263			2	
西洋美術史A ○	262	2			
西洋美術史B ○	262	2			
音楽と文学 △	263			2	
音楽と美術 △	263			2	
日本音楽論 ☆	262			2	
民族音楽論 ☆	262			2	

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
金城シネマ ☆	261		2		
世界と日本のクラシック ☆	262		2		
民族と芸術 ☆	262		2		
地中海文化入門 ☆	261		2		
中国語文化入門 ☆	261	2			
日本語教育入門 ☆	262	2			
日本語教授法 ☆	263		2		
世界の日本語教育 ☆	263		2		
Cross-Cultural Communication ☆	263		2		
日本の多文化事情 ☆	262		2		
英米文化研究A ☆	262		2		
英米文化研究B ☆	262		2		
英米文化研究C ☆	262		2		
英米文化研究D ☆	262		2		
英米文化研究E ☆	262		2		
英語語彙研究 ☆	262		2		
英語意味研究 ☆	262		2		
古典文化講読A ☆	262		2		
古典文化講読B ☆	262		2		
古典文学講読A ☆	262		2		
古典文学講読B ☆	262		2		
近現代文化講義A ☆	262		2		
近現代文化講義B ☆	262		2		
現代芸術論A ☆	262		2		
現代芸術論B ☆	262		2		

音楽芸術学科

9 声楽コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修
各科目区分の条件を満たし、70単位以上を修得すること

基礎科目					
10単位必修					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
音 楽 芸 術 学 ★	262	2			
ソ ル フ ェ ー ジ ュ ★	262	2			
音 楽 理 論 ★	262	2			
西 洋 音 楽 史 A ★	262		2		
西 洋 音 楽 史 B ★	262		2		

基幹科目					
12単位コース必修 ピアノ奏法(1)～(8)・管楽器奏法(1)～(8)は履修不可					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ピ ア ノ 奏 法 (1)	262	2			
ピ ア ノ 奏 法 (2)	262	2			
ピ ア ノ 奏 法 (3)	262		2		
ピ ア ノ 奏 法 (4)	262		2		
ピ ア ノ 奏 法 (5)	263			2	
ピ ア ノ 奏 法 (6)	263			2	
ピ ア ノ 奏 法 (7)	263				2
ピ ア ノ 奏 法 (8)	263				2
声 楽 (1) ★	262	2			
声 楽 (2) ★	262	2			
声 楽 (3) ★	262		2		
声 楽 (4) ★	262		2		
声 楽 (5) ★	263			2	
声 楽 (6) ★	263			2	
声 楽 (7) ☆	263				2
声 楽 (8) ☆	263				2

基幹科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
管 楽 器 奏 法 (1)	262	2			
管 楽 器 奏 法 (2)	262	2			
管 楽 器 奏 法 (3)	262		2		
管 楽 器 奏 法 (4)	262		2		
管 楽 器 奏 法 (5)	263			2	
管 楽 器 奏 法 (6)	263			2	
管 楽 器 奏 法 (7)	263				2
管 楽 器 奏 法 (8)	263				2

演習科目					
1単位必修					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
音 楽 芸 術 学 演 習 ★	263				1
卒業演奏・卒業作品・卒業論文 ☆	263				6

展開科目					
展開科目から40単位選択必修 (コース必修、●から4単位選択必修、▲から2単位選択必修、○から2単位選択必修、△から2単位選択必修を含む)					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
和声 ☆	262		2		
管弦楽編曲法 ☆	263		2		
合唱編曲法 ☆	263		2		
作曲学 ☆	263			2	
指揮法(1) ☆	262		2		
指揮法(2) ☆	263			2	
合唱 ☆	262	2			
合唱指導法 ☆	263		2		
吹奏楽指導法 ☆	263			2	
ティーチング・トレーニング ☆	263			2	
音楽教員育成講座 A ☆	263				2
音楽教員育成講座 B ☆	263				2
副科ピアノ奏法 A ★	261	1			
副科ピアノ奏法 B ★	261	1			
副科ピアノ奏法 C ☆	262		1		
副科ピアノ奏法 D ☆	262		1		
副科ピアノ奏法 E ☆	263			1	
副科ピアノ奏法 F ☆	263			1	
副科声楽基礎 ※履修不可	261	1			
副科声楽応用 A ※履修不可	262		1		
副科声楽応用 B ※履修不可	262		1		
副科声楽応用 C ※履修不可	263			1	
副科声楽応用 D ※履修不可	263			1	

A群(音楽理論/音楽実技)

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
副科管楽器 ☆	261		1		
ピアノアンサンブル A ※履修不可	262		2		
ピアノアンサンブル B ※履修不可	262		2		
室内アンサンブル A ☆	263			2	
室内アンサンブル B ☆	263			2	
ステージアクティング ●	263		2		
オペラ演習 ●	263			2	
声楽アンサンブル ●	263			2	
管楽アンサンブル A ※履修不可	263			2	
管楽アンサンブル B ※履修不可	263			2	
管楽アンサンブル C ※履修不可	263			2	
管楽アンサンブル D ※履修不可	263			2	
アンサンブルコンサート演習 A ☆	263		2		
アンサンブルコンサート演習 B ☆	263			2	
邦楽 A ☆	261			1	
邦楽 B ☆	261			1	
発音法 ★	262	2			
演奏家のための身体感覚レッスン ☆	262		2		
ピアニストのための脱力法 ※履修不可	262		2		
声楽伴奏演習 ☆	262		2		
演奏家特別レッスン A ☆	263		1		
演奏家特別レッスン B ☆	263			1	
ピアノ指導法(1) ☆	262		2		
ピアノ指導法(2) ☆	263			2	
ピアノ教室レッスン実習 ☆	263			2	

A群(音楽理論/音楽実技)

展開科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ヤマハグレード取得講座 A ☆	262	1			
ヤマハグレード取得講座 B ☆	262	1			
ヤマハグレード取得講座 C ☆	262	1			
ヤマハグレード取得講座 D ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座 E ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座 F ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座 G ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座 H ☆	263		1		
ヤマハグレード取得講座 I ☆	263		1		
ヤマハグレード取得講座 J ☆	263		1		
古 典 舞 踏 ☆	262				2
リ ト ミ ッ ク ☆	262	2			

展開科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ヨーロッパの文化と芸術 ▲	262		2		
ドイツ語文化入門 ▲	261	2			
フランス語文化入門 ▲	261	2			
イタリア文化入門 ▲	261		2		
イタリア語入門 (1) ☆	261		1		
イタリア語入門 (2) ☆	261		1		
西洋音楽史入門 ☆	261	2			
クラシック音楽研究 ☆	263			2	
西洋美術史 A ○	262	2			
西洋美術史 B ○	262	2			
音楽と文学 △	263			2	
音楽と美術 △	263			2	
日本音楽論 ☆	262			2	
民族音楽論 ☆	262			2	

展開科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
金 城 シ ネ マ ☆	261		2		
世界と日本のクラシック ☆	262		2		
民 族 と 芸 術 ☆	262		2		
地 中 海 文 化 入 門 ☆	261		2		
中 国 語 文 化 入 門 ☆	261	2			
日 本 語 教 育 入 門 ☆	262	2			
日 本 語 教 授 法 ☆	263		2		
世界の日本語教育 ☆	263		2		
Cross-Cultural Communication ☆	263		2		
日本の多文化事情 ☆	262		2		
英米文化研究 A ☆	262		2		
英米文化研究 B ☆	262		2		
英米文化研究 C ☆	262		2		
英米文化研究 D ☆	262		2		
英米文化研究 E ☆	262		2		
英語語彙研究 ☆	262		2		
英語意味研究 ☆	262		2		
古典文化講読 A ☆	262		2		
古典文化講読 B ☆	262		2		
古典文学講読 A ☆	262		2		
古典文学講読 B ☆	262		2		
近現代文化講義 A ☆	262		2		
近現代文化講義 B ☆	262		2		
現代芸術論 A ☆	262		2		
現代芸術論 B ☆	262		2		

音楽芸術学科

10 管楽器コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修
各科目区分の条件を満たし、70単位以上を修得すること

基礎科目					
10単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
音楽芸術学★	262	2			
ソルフェージュ★	262	2			
音楽理論★	262	2			
西洋音楽史 A★	262		2		
西洋音楽史 B★	262		2		

基幹科目					
12単位コース必修 ピアノ奏法(1)～(8)・声楽(1)～(8)は履修不可					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ピアノ奏法 (1)	262	2			
ピアノ奏法 (2)	262	2			
ピアノ奏法 (3)	262		2		
ピアノ奏法 (4)	262		2		
ピアノ奏法 (5)	263			2	
ピアノ奏法 (6)	263			2	
ピアノ奏法 (7)	263				2
ピアノ奏法 (8)	263				2
声楽 (1)	262	2			
声楽 (2)	262	2			
声楽 (3)	262		2		
声楽 (4)	262		2		
声楽 (5)	263			2	
声楽 (6)	263			2	
声楽 (7)	263				2
声楽 (8)	263				2

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
管楽器奏法 (1)★	262	2			
管楽器奏法 (2)★	262	2			
管楽器奏法 (3)★	262		2		
管楽器奏法 (4)★	262		2		
管楽器奏法 (5)★	263			2	
管楽器奏法 (6)★	263			2	
管楽器奏法 (7)☆	263				2
管楽器奏法 (8)☆	263				2

演習科目					
1単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
音楽芸術学演習★	263				1
卒業演奏・卒業作品・卒業論文☆	263				6

大学編
履修要項・履修案内
大学編
学籍上の諸手続き
大学編
教務事務の取扱い
大学編
履修規程
学部編
ポリシー
学部編
卒業要件(単位数)(詳細)
学部編
学科独自の制度
学部編
科目分類番号
学部編
共通教育科目等の課程表
学部編
専門教育科目のカリキュラム(シラビュ)および課程表
学部編
教員取得に関する教育課程表
学部編
各種資格

展開科目					
展開科目から40単位選択必修 (コース必修、■から4単位選択必修、▲から2単位選択必修、○から2単位選択必修、△から2単位選択必修を含む)					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
和声 ☆	262		2		
管弦楽編曲法 ☆	263		2		
合唱編曲法 ☆	263		2		
作曲学 ☆	263			2	
指揮法(1) ☆	262		2		
指揮法(2) ☆	263			2	
合唱 ☆	262	2			
合唱指導法 ☆	263		2		
吹奏楽指導法 ★	263			2	
ティーチング・トレーニング ☆	263			2	
音楽教員育成講座 A ☆	263				2
音楽教員育成講座 B ☆	263				2
副科ピアノ奏法 A ★	261	1			
副科ピアノ奏法 B ★	261	1			
副科ピアノ奏法 C ☆	262		1		
副科ピアノ奏法 D ☆	262		1		
副科ピアノ奏法 E ☆	263			1	
副科ピアノ奏法 F ☆	263			1	
副科声楽基礎 ★	261	1			
副科声楽応用 A ☆	262		1		
副科声楽応用 B ☆	262		1		
副科声楽応用 C ☆	263			1	
副科声楽応用 D ☆	263			1	

A群(音楽理論/音楽実技)

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
副科管楽器 ※履修不可	261		1		
ピアノアンサンブル A ※履修不可	262		2		
ピアノアンサンブル B ※履修不可	262		2		
室内アンサンブル A ☆	263			2	
室内アンサンブル B ☆	263			2	
ステージアクティング ☆	263		2		
オペラ演習 ☆	263			2	
声楽アンサンブル ☆	263			2	
管楽アンサンブル A ■	263			2	
管楽アンサンブル B ■	263			2	
管楽アンサンブル C ■	263			2	
管楽アンサンブル D ■	263			2	
アンサンブルコンサート演習 A ☆	263		2		
アンサンブルコンサート演習 B ☆	263			2	
邦楽 A ☆	261			1	
邦楽 B ☆	261			1	
発音法 ☆	262	2			
演奏家のための身体感覚レッスン ☆	262		2		
ピアニストのための脱力法 ※履修不可	262		2		
声楽伴奏演習 ☆	262		2		
演奏家特別レッスン A ☆	263		1		
演奏家特別レッスン B ☆	263			1	
ピアノ指導法(1) ☆	262		2		
ピアノ指導法(2) ☆	263			2	
ピアノ教室レッスン実習 ☆	263			2	

A群(音楽理論/音楽実技)

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ヤマハグレード取得講座A ☆	262	1			
ヤマハグレード取得講座B ☆	262	1			
ヤマハグレード取得講座C ☆	262	1			
ヤマハグレード取得講座D ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座E ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座F ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座G ☆	263	1			
ヤマハグレード取得講座H ☆	263		1		
ヤマハグレード取得講座I ☆	263		1		
ヤマハグレード取得講座J ☆	263		1		
古典舞踏 ☆	262				2
リトミック ☆	262	2			

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ヨーロッパの文化と芸術 ▲	262		2		
ドイツ語文化入門 ▲	261	2			
フランス語文化入門 ▲	261	2			
イタリア文化入門 ▲	261		2		
イタリア語入門(1) ☆	261		1		
イタリア語入門(2) ☆	261		1		
西洋音楽史入門 ☆	261	2			
クラシック音楽研究 ☆	263			2	
西洋美術史A ○	262	2			
西洋美術史B ○	262	2			
音楽と文学 △	263			2	
音楽と美術 △	263			2	
日本音楽論 ☆	262			2	
民族音楽論 ☆	262			2	

展開科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
金城シネマ ☆	261		2		
世界と日本のクラシック ☆	262		2		
民族と芸術 ☆	262		2		
地中海文化入門 ☆	261		2		
中国語文化入門 ☆	261	2			
日本語教育入門 ☆	262	2			
日本語教授法 ☆	263		2		
世界の日本語教育 ☆	263		2		
Cross-Cultural Communication ☆	263		2		
日本の多文化事情 ☆	262		2		
英米文化研究A ☆	262		2		
英米文化研究B ☆	262		2		
英米文化研究C ☆	262		2		
英米文化研究D ☆	262		2		
英米文化研究E ☆	262		2		
英語語彙研究 ☆	262		2		
英語意味研究 ☆	262		2		
古典文化講読A ☆	262		2		
古典文化講読B ☆	262		2		
古典文学講読A ☆	262		2		
古典文学講読B ☆	262		2		
近現代文化講義A ☆	262		2		
近現代文化講義B ☆	262		2		
現代芸術論A ☆	262		2		
現代芸術論B ☆	262		2		

1 中高免教職課程について

〔1〕教職課程とは？

中学校や高校で授業を行うためには教員免許状が必要です。その取得のために必要な科目を開講し、教職課程を設けています。教育職員免許法や教育職員免許法施行規則等に定められた単位を修得することで、卒業時に教員免許状を取得できます。

教職に関心がある学生は、1年次から「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」を履修してください。教職課程の申し込みは2年生の夏、教育実習の申し込みは3年生（薬学部は5年生）の春に行います。自信を持って教えられるように、教科と教職の両方の専門性を伸ばす努力をしてください。

本学の中高免教職課程を履修することにより授与される免許状の種類等は、次の通りです。私たち、中高免教職課程担当教員、職員は金城学院大学卒業生が一人でも多く、教育現場の教壇に立つことを願っています。

学 部	学 科		免許状の種類	免許教科
文学部	日本語日本文化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語 国 語 書 道
	英語英米文化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	外国語コミュニケーション学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	音楽芸術学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽 音 楽
生活環境学部	生活マネジメント学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭 情 報
	環境デザイン学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
	食環境栄養学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
国際情報学部	国際情報 学科	グローバル スタディーズコース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 地 理 歴 史 公 民
		メディアスタディーズコース	高等学校教諭一種免許状	情 報
人間科学部	現代子ども教育学科		中学校教諭一種免許状	英 語
	多元心理学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民
	コミュニティ福祉学科		高等学校教諭一種免許状	福 祉
薬学部	薬学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理 科 理 科

日本語日本文化学科
高一種免「書道」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目		学年	単位	選択科目		学年	単位
教科に関する専門的事項	書道 (書写を含む。)	24	書道A	1年	1					
			書道B	1年	1					
			書道C	2年	1					
			書道D	2年	1					
	書道史		書道史	2年	2					
	「書論、鑑賞」		書論	2年	2					
	「国文学、漢文学」		古典文化入門	1年	2	古典文学講読A	2年	2		
			日本文化演習A	2年	1	古典文学講読B	2年	2		
			日本文化演習B	2年	1	古典文学史	1年	2		
			日本文化専門演習A	3年	1	近現代文学史	1年	2		
			日本文化専門演習B	3年	1	古典文化講義A	2年	2		
			古典文化概論	2年	2	古典文化講義B	2年	2		
			古典文学概論	2年	2	漢文学史	2年	2		
	漢文学概論A		2年	2	漢文学講読	2年	2			
	漢文学概論B		2年	2						
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	書道科指導法	2年	4							

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い高一種においては4単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

英語英米文化学科
中一種免「英語」・高一種免「英語」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数							
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目		学年	単位	選択科目		学年	単位
教科に関する専門的事項	英語学	中28 高24	英語研究入門A	1年	2	英語構造研究(1)	2年	2		
			英語研究入門B	1年	2					
	英語文学		英米文学の世界	1年	2	イギリス文学概論	2年	2		
						アメリカ文学概論	2年	2		
	英語コミュニケーション		English Grammar (1)	1年	1	言語コミュニケーション理論A	2・3年	2		
			English Grammar (2)	1年	1					
			Reading/Writing (1)	1年	1					
			Reading/Writing (2)	1年	1					
			Speaking/Writing (1)	1年	1					
			Speaking/Writing (2)	1年	1					
			Reading/Writing (5)	3年	1					
			Reading/Writing (6)	3年	1					
			Reading/Writing (7)	4年	1					
			Reading/Writing (8)	4年	1					
	異文化理解		Extensive English (1)	2年	1					
Extensive English (2)		2年	1							
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語圏文化入門	1年	2	イギリス文化概論	2年	2				
				アメリカ文化概論	2年	2				
	英語科指導法A	2年	4							
	英語科指導法B	3年	2							
	英語科指導法C	3年	2							

備考：「英語科指導法」においては8単位必修。

外国語コミュニケーション学科 中一種免「英語」・高一種免「英語」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数									
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目		学年	単位	選択科目		学年	単位		
教科に関する専門的事項	英語学	中28 高24	英語学	2年	2							
			Grammar (1)	1年	1							
			Grammar (2)	1年	1							
			世界の英語	3年	2							
	英語文学		英米文学の世界	2年	2			イギリス文学概論	2年	2		
								アメリカ文学概論	2年	2		
	英語コミュニケーション		Reading (1)	1年	1			Oral Presentation (1)	2年	1		
			Reading (2)	1年	1			Oral Presentation (2)	2年	1		
			Conversation (1)	1年	1							
			Conversation (2)	1年	1							
			Reading and Writing (1)	2年	1							
			Reading and Writing (2)	2年	1							
	異文化理解		日英文化研究A	3年	2			Cross-Cultural Communication	2年	2		
			日英文化研究B	3年	2			イギリス文化概論	2年	2		
			日米文化研究A	3年	2			アメリカ文化概論	2年	2		
			日米文化研究B	3年	2							
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語科指導法A	2年	4									
	英語科指導法B	3年	2									
	英語科指導法C	3年	2									

備考：「英語科指導法」においては8単位必修。

音楽芸術学科

中一種免「音楽」・高一種免「音楽」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数									
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目		学年	単位	選択科目		学年	単位		
教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	中28 高24	ソルフェージュ	1年	2							
			声乐 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	合唱	1年	2	声乐(1) ※2	1年	2			
	邦楽B			邦楽B	3年	1	声乐(2) ※2	1年	2			
								副科声乐 基礎 ※1,3	1年	1		
	器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)		邦楽A	邦楽A	3年	1	ピアノ奏法(1) ※1	1年	2			
								ピアノ奏法(2) ※1	1年	2		
			指揮法(1)					声乐伴奏演習 ※1	2年	2		
								副科ピアノ奏法A ※2,3	1年	1		
								副科ピアノ奏法B ※2,3	1年	1		
								管楽器奏法(1) ※3	1年	2		
								管楽器奏法(2) ※3	1年	2		
								副科管楽器 ※1,2	2年	1		
	音楽理論・作曲法 (編曲法を含む。) ・音楽史 (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)		指揮法(1)	2年	2							
			音楽理論	1年	2			西洋音楽史入門	1年	2		
			作曲学	3年	2							
			管弦楽編曲法	2年	2							
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	日本音楽論	3年	2									
	民族音楽論	3年	2									
	西洋音楽史A	2年	2									
	西洋音楽史B	2年	2									
	音楽科指導法A	2年	4			音楽科指導法B	3年	2				
						音楽科指導法C	3年	2				

備考1：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い中一種においては8単位、高一種においては4単位を履修しておくこと。

後述の〔3〕を参照してください。

備考2：選択科目のうち、ピアノコースの学生は※1、声乐コースの学生は※2、管楽器コースの学生は※3を修得してください。また、管楽器コースの学生は※4から1科目2単位を修得してください。

②教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	学校と教育の歴史	2				必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2				必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学		2			必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達と学習	2				必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の理論と方法		2			必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論			2		必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法			2		中免のみ必修。 高免においては選択。
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		2			必修
	特別活動の指導法		特別活動の指導法			2		必修
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法及び情報通信技術の活用		2			必修
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導とキャリア教育の理論と方法			2		必修
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2			必修
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習A				5	教育実習Aは中免のみ必修。 高免は教育実習A、Bのいずれか1科目必修。 いずれも事前事後指導1単位を含む。
			教育実習B				3	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中高)				2	必修

備考1：教育実習以前に、「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目を履修しておくこと。

備考2：後述の〔3〕を参照してください。

③大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
科目区分	単位数		1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	中4 高12	道徳教育の理論と方法			2		備考2
		情報教育論		2			

備考1：教育職員免許法施行規則で定められた、免許状取得に必要な最低取得単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として使用することができます。ただし、他の免許教科のために設けられている「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として使用することはできません。

備考2：「道徳教育の理論と方法」は、高一種においては選択。中一種においては、「大学が独自に設定する科目」の単位として使用することはできません。

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	2				必修
体育	2	スポーツ・アンド・エクササイズ講義		1			必修 これら 7科目より 1科目 選択必修
		スポーツ・アンド・エクササイズA		1			
		スポーツ・アンド・エクササイズB		1			
		スポーツ・アンド・エクササイズC		1			
		スポーツ・アンド・エクササイズD		1			
		スポーツ・アンド・エクササイズE		1			
		スポーツ・アンド・エクササイズF		1			
		スポーツ・アンド・エクササイズG		1			
外国語 コミュニケーション	2	英語コミュニケーションA(1)	1				日本語日本文化学科 および音楽芸術学科 必修
		英語コミュニケーションA(2)	1				
		ドイツ語会話(1)	1				英語英米文化学科 2単位 選択必修
		ドイツ語(1)	1				
		フランス語会話(1)	1				
		フランス語(1)	1				
		スペイン語会話(1)	1				
		スペイン語(1)	1				
		中国語会話(1)	1				
		中国語(1)	1				
		韓国・朝鮮語会話(1)	1				
		韓国・朝鮮語(1)	1				
Grammar (1)	1				外国語コミュニケー ション学科 必修		
Grammar (2)	1						
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2	情報リテラシー	2				必修

〔3〕教育実習

教職に関する科目の一つである教育実習は、教育現場における体験を通じて、教育についての深い理解と強い熱意をつちかい、真によき教育者としての素地をつくることを目的として行われます。実習生は、実際に教壇に立つとともに、生徒へのさまざまな指導、学級の経営と管理、校務などの実習を行います。

教育実習に関しては、次の点に注意してください。

- (1) 中学校免許取得のためには、「教育実習A」5単位（実習は原則として3週間4単位と事前・事後指導1単位）、高等学校免許取得のためには、「教育実習B」3単位（実習2週間2単位と事前・事後指導1単位）または「教育実習A」5単位のいずれかの履修が必要です。
- (2) 教育実習は、原則として中学校または高等学校、あるいはその両方です。いずれの場合も中学校・高等学校のすべての免許取得のための教育実習として有効です。
- (3) 複数の教科の免許を取得しようとする場合にも、実習はいずれかの教科で1回行えば十分です。
- (4) 教育実習は、実習校の協力を得て行われるものです。実習生は、実習校に迷惑をかけることのないよう、しっかりした決意と十分な配慮をもって取り組まなくてはなりません。
- (5) 教育実習に先立って、教育実習申込みオリエンテーションを行います。このオリエンテーションで教育実習についての認識を深め、慎重に検討した上で教育実習を希望する者は、所定の期間内に必要な書類を添えて履修支援センターに申し込んでください。ただし、下記「3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件」の①を満たさない者は教育実習申込みを行うことはできません。
- (6) 教育実習期間の前後に数回の事前・事後指導を行います。また、教育実習後には、所定のレポートを提出しなければなりません。教育実習の履修には、事前指導・事後指導への出席とレポートの提出も含まれます。
- (7) 教育実習は教員を志す者にのみ認められます。教育実習を希望する者は、教員採用試験（愛知県・名古屋市など）を受験することを原則とします。実際に、中学校・高等学校が実施する事前指導で、教員採用試験を受けない学生は実習をとりやめるように言われたケースがあります。また、採用試験に欠席した学生が出た場合、教育委員会から、電話やFAXで欠席した理由の説明を求められることがありますので必ず受験してください。さらに、教育実習や教員採用試験の時期は企業などへの就職活動の時期と重なりますが、企業などへの就職活動についての配慮はいっさい認められません。実習先の先生や生徒に迷惑をかけることが無いよう、教育実習を最優先させてください。
- (8) 教育実習の際に必要な知識を習得しておくために、教育実習の履修以前に、「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目をすべて履修していなければなりません。また、取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を、中一種においては8単位、高一種においては4単位を履修していなければなりません。なお、教育実習への準備を十分に行うために高校の教員免許状取得では選択となっている「〇〇科指導法BまたはC」も全て履修することを強く推奨します。
- (9) 教育実習では実際の授業の場で生徒に指導するため、十分な力量を備えて実習に臨む必要があります。本学では、以下に示す1.「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育の基礎的理解に関する科目等」に関する条件、2.「教科に関する専門的事項」に関する条件、3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件のすべてを満たす場合に教育実習の履修を認めることにしています。

なお、オリエンテーション、事前指導、課題等への取り組みや履修カルテ等によって教育実習に向けた準備状況から、教育実習に向けた準備が不十分であると判断された学生には学科のアドバイザー教員や教職課程担当教員から、改善を促すことがあります。改善が見られない場合は履修を認めないこともあります。

1. 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育の基礎的理解に関する科目等」に関する条件

次のいずれかを満たすこと。

- ① 原則として、教育実習履修前年度終了時まで、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目をすべて履修し、かつ、18単位以上取得していること。ただし、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」は、

教育実習で担当する科目に関するもののみをこの条件の対象科目とする。

- ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「教職科目」（教職教養等の名称）の試験の得点が50%以上の結果を、一度以上得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。

* 留学等によって、①の条件を満たすことができない学生は次のように対応する。留学へ行く場合は、4年次（薬学部6年次）卒業までに、教員免許状取得に必要な単位をすべて取得できる見込みがある場合にのみ、4年次（薬学部6年次）における教育実習履修を認めることとする。その際、原則として教育実習履修前年度末までに、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」を6科目以上履修し、12単位以上（〇〇科指導法Aまたは〇〇科指導法の単位を含む）を取得していることを条件とする。

2. 「教科に関する専門的事項」に関する条件

次のいずれかを満たすこと。

- ① 教育実習前年度終了時点における教育実習で担当する科目の「教科に関する専門的事項」のGPAが2.5以上であること。
- ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「専門科目」（教育実習で担当する科目）の得点率が50%以上の結果を一度以上、得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。
- ③ 教科の専門的知識・技能があると認められる資格等を大学入学後に取得していること。
- 英語：英検2級以上、TOEIC 500点以上、TOEFL 470点（iBT 50点）以上、またはこれらと同等以上の資格のいずれか
- 家庭：消費者力検定「応用コース」3級以上
- 情報：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、マルチメディア検定エキスパートのいずれかに合格していること
- 音楽：音楽芸術学科が主催する定期演奏会の出場経験、またはそれと同等以上と認められる演奏会への出場経験
- 理科：薬学共用試験に合格していること
- その他、各学科から提案のあった資格、入賞経験等を有し、教職課程委員会が認めた場合。

* 学内模試を受験できない等の事情がある編入生・科目等履修生は、課題に取り組みせた上で、学力確認試験等を実施して、教育実習履修の可否を判断するものとする。

* 科目等履修生は、「教科の専門的知識・技能があると求められる資格等」は科目等履修生を始める前に取得した資格等も対象とする。

* コミュニティ福祉学科の学生は、2年前期終了時のGPAが2.5以上あり、3年次に「ソーシャルワーク実習」ならびに「ソーシャルワーク実習指導(3)(4)」の単位を取得していることも条件とする。

3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件

- ① 教育実習の申込みは、申込み前年度の3月末までに当該学年の秋課題を提出していることを条件とする。
- ② 教育実習の履修は、前年度の1月第2火曜日（成人の日の翌日）までに当該学年の秋課題までの課題のすべてを提出していることを条件とする。

* 留学をする学生、編入生、科目等履修生の課題の内容や提出期限は、留学する時期や教育実習の履修予定年を考慮して担当教員から指示する。

〔4〕「介護等体験」について

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、中学校教諭の免許状を取得しようとする場合に、特別支援学校および社会福祉施設等で7日間以上にわたる「介護等体験」を行うことが必要です。大学が斡旋する施設等に行って所定の活動を行う必要があります。大学による斡旋は、3年次に行く予定です。説明会等を2年次から行いますので注意してください。ただし、介護等に関する専門知識等を有する者や障害により介護等体験が困難な者は、免除される場合がありますので、履修支援センターで相談してください。

なお、3年次の夏休みを中心とした時期に介護等体験の予定が入りますが、原則として、正式な授業と認められるもの（例：集中講義、幼稚園教育実習、病院及び薬局実務実習など）及び、学科の専門領域と密接に関連があり、かつ、教育実習に向けた準備の上でも有益であると考えられる学科主催の公式行事である場合、また、履修要覧で定めている「欠席」とみなさない場合の条件、大学9頁〔5〕②eに該当する可能性があり、「配慮すべき日数」が数日に留まるもの場合には日程調整を行います。日程が明確となっている場合は、所定の期日までに申告してください。

なお、「配慮すべき日数」が数日に留まるものうち当該学科からの要請によって教職課程委員会が承認した場合は、決められた期日までに申し出たことにより日程調整を行うことがあります。学科の行事等が予定されている場合は自学科の教員と自学科担当の教職課程担当教員に相談してください。

ただし、施設や学校の受け入れ側の都合で、希望に添う日程に調整することは保証できませんので、ご承知ください。

〔5〕教職課程関係の連絡とスケジュール

教職課程の履修に関しては、教育実習、介護等体験、教員免許状の申請、各種オリエンテーションなど、さまざまな手続きが必要です。これらについての連絡はK-PORT(学生ポータルサイト)・manaba等によって行いますので、教職課程の履修を希望する者は常に注意してください。なお、教職課程に関する質問や相談は、履修支援センターで受け付けます。

教職課程に関して、4年間の主なスケジュールは次の通りです。

1年次	4月	教職課程ガイダンス（新入生オリエンテーション内）
2年次	7月	教職課程履修申込みオリエンテーション（履修希望者全員）
	7月～9月	介護等体験申込みオリエンテーション（中学校免許状取得希望者）
	11月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座
3年次	4月	教育実習履修（次年度）申込みオリエンテーション及び介護等体験日程調整
	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月～6月	教育実習希望校への内諾依頼
	7月～	介護等体験事前指導（全2回）
	8月～12月	介護等体験
	8月～9月	私学適性検査（各自申込）
	9月	第1回教育実習事前指導
	11月～12月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座

4年次	4月～5月	第2～7回教育実習事前指導
	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月中旬	愛知県・名古屋市・岐阜県・三重県教育委員会採用試験説明会
	5月～6月	教育実習A（原則として3週間）、教育実習B（2週間） *一部の学校では9月～10月になります
	7月上旬	教育実習事後指導
	7月中旬	教員採用試験・一次試験（愛知県・名古屋市 他全員受験）
	8月	教員採用試験・二次試験（愛知県・名古屋市 他）
	8月～9月	私学適性検査（各自申込）
	9月	教員免許状一括申請学内申込み
	11月	教員免許状申請書類記入
	3月（学位記授与式当日）	免許状交付

<教員採用試験模擬試験>

本学では、中高免教職課程において教育実習を行う者は、教員採用試験を受験することを原則とします。これは教育委員会から、教育実習の受け入れ条件として教員になる希望を持って、採用試験を受験することが条件として示されているためです。この条件は、教育現場において授業を担当する以上、しっかりとした専門的な知識技能と教職への希望を持って子どもへの指導にあたって欲しいという教育現場からの声を反映させたものであると本学では理解しています。そのため、2年次12月から4年次5月にかけて、キャリア・アップ講座に設けられている模擬試験（学内模試）を受験することを推奨しています。教員採用試験は、試験範囲が広く、長期的な展望を持って準備しないと、合格は容易ではありません。長期的な学習計画を立て、模擬試験をペースメーカーとして、教育実習と採用試験に備えてください。

注1）教員採用試験対策講座受講者は、専門科目の模擬試験が受験できます。詳しくはキャリア・アップ講座の窓口にお問い合わせください。

<教員採用試験>

公立中学校・高等学校の教員採用試験は、毎年夏に行われます。前述のように、本学では、教員採用試験の受験を教育実習を行うための条件にしています。また、多くの教育委員会で、教育実習の期間前や期間中に教員採用試験受験申し込み締め切りを設定しているため、教育実習前に教員採用試験の受験申し込みを済ませてください。なお、私学の教員採用については、応募や試験の形態が様々であるため、私学教員を志す場合は、各自で情報収集をするとともに、各学部・各学科担当の教職課程委員の教員に相談をしてください。

<教員免許状の申請>

教員免許状の申請は、大学が一括して愛知県教育委員会に対して行います。4年次の9月に申請手続きを履修支援センター窓口で行います。なお申請時に手数料が別途必要です。期限内に手続きをしない場合は、一括申請から除外されますので、行事予定やK-PORTを十分に注意し、指示に従ってください。

〔6〕課程履修費等について

本課程を履修するには学納金とは別に課程履修費等が必要です。課程履修費は、2,500円（3年次前期）、16,600円（4年次前期）です。なお、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

また、中学校教諭の免許状取得希望者は、介護等体験履修費として11,000円（3年次前期）、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

納入方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。

1 学校図書館司書教諭資格について

『学校図書館法』により、「学校には、学校図書館を設けなければならない」こととなっており、また、その「専門的職務を掌らせるため、司書教諭を置かなければならない」こととなっています。司書教諭の資格は、小、中、高等学校又は特別支援学校の教諭の免許状を取得するとともに、以下の科目を受講することで取得できます。司書教諭は、学校図書館の運営に関して中心的な役割を担い、同時に、教諭として生徒の読書や資料の利用に関する指導を行います。

	科 目 (法令上の科目)	相 当 科 目 (大学における開講科目)	開講基準年次及び単位数				備考
			1年	2年	3年	4年	
必修科目	学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館			2		
	学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成			2		
	学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館			2		
	読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性			2		
	情報メディアの活用	情報メディアの活用			2		

2 司書資格について

『図書館法』第五条にあるように、「司書となる資格」は、「大学において図書館に関する科目を履修」することなどで取得できます。「図書館に関する科目」は、『図書館法施行規則』第四条に規定されているのですが、本学でも、同条に従い、以下の科目を設けています。

『図書館法』は、公共図書館を規定する法律です。そのため、以下の科目の内容も、公共図書館に関する内容が中心となっています。公共図書館は、地域住民に読書や情報を保証し、また、地域の歴史や文化を保存する機関として重要な役割を担っています。

	科 目 (法令上の科目)	単位数	相 当 科 目 (大学における開講科目)	開講基準年次及び単位数				備考
				1年	2年	3年	4年	
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論		2			
	図書館概論	2	図書館概論	2				
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論			2		
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論		2			
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論		2			
	情報サービス論	2	情報サービス論		2			
	児童サービス論	2	児童サービス論			2		
	情報サービス演習	2	情報サービス演習(1)			1		
			情報サービス演習(2)			1		
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2				
	情報資源組織論	2	情報資源組織論			2		
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習(1)			1		
情報資源組織演習(2)					1			
選択必修科目 (相応科目のうち 2科目以上を選択必修)	図書館基礎特論	1	図書館基礎特論	2				
	図書館サービス特論	1	図書館サービス演習		1			
	図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論	2				
	図書・図書館史	1	図書・図書館史	1				
	図書館施設論	1	図書館施設論	1				
	図書館実習	1						
選択科目	図書館総合演習	1	卒業論文演習A 卒業論文演習B				1 1	※

※「卒業論文演習(1)(2)」は、日本語日本文化学科生のみ履修可。また、薬師院はるみ先生の「卒業論文(1)(2)」に限ります。

3 学校司書養成プログラム資格について

『学校図書館法』第六条には、「学校には、……学校司書……を置くよう努めなければならない」と規定されています。学校司書は、「学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員」です。

本学でも、文部科学省通知「『学校司書のモデルカリキュラム』について」に従い、以下の科目を設けています。

	科目 (学校司書モデルカリキュラム)	単位数	相当科目 (大学における開講科目)	開講基準年次及び単位数				備考
				1年	2年	3年	4年	
学校図書館の運営・管理・ サービスに関する科目	学校図書館概論	2	学校経営と学校図書館			2		
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論		2			
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2				
	情報資源組織論	2	情報資源組織論			2		
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習(1) 情報資源組織演習(2)			1 1		
	学校図書館サービス論	2	図書館基礎特論	2				
	学校図書館情報サービス論	2	情報サービス論 情報サービス演習(1) 情報サービス演習(2)		2		1 1	
児童生徒に対する教育 支援に関する科目	学校教育概論	2	学校と教育の歴史		2			
			発達と学習		2			
			特別支援教育の理論と方法			2		
			教育課程論				2	
	学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館				2	
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性				2		

4 博物館学芸員資格について

博物館、美術館、民俗資料館などには専門職員として学芸員を置くことが義務づけられています（博物館法第4条第3項）。学芸員は博物館において資料の収集、保管、展示や調査・研究などの専門的な仕事に従事します。

学芸員の資格を取得するためには、「学士の学位を有し、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得する」（博物館法第5条第1項）が必要です。資格取得については次の表にしたがって科目を履修してください。

「博物館実習(2)」は4年次に1週間行われます。実習先は原則的には大学の方で依頼・確定しますが、実習可能な館は少なく、また実習自体も大変難しく厳しいものです。したがって、博物館実習に参加する前に各自においても、相応の学習が望まれます。なんとなく資格をと思っている学生では実習できません。また、実習中に学生側の責任で問題が生じた場合には実習を中止させることがあります。

いずれにしても事前に十分な準備が欠かせません。

どうして学芸員になりたいのか、どういう学芸員になりたいのか、ということについて明確な目的意識をもち、しっかりした心構えで望むことが必要です。

	科 目 (法令上の科目)	単位数	相 当 科 目 (大学における開講科目)	開講基準年次及び単位数				備考
				1年	2年	3年	4年	
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論		2			
	博物館概論	2	博物館概論	2				
	博物館経営論	2	博物館経営論			2		
	博物館資料論	2	博物館資料論	2				
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論		2			
	博物館展示論	2	博物館展示論		2			
	博物館教育論	2	博物館教育論			2		
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論			2		
	博物館実習	3	博物館実習(1) 博物館実習(2)			2		1
選択必修科目	文化史	2 系列 8 単位 以上	古典文化史	2				
			近現代文化史	2				
			古典文化講読A		2			
			古典文化講読B		2			
			近現代文化研究A		2			
			近現代文化研究B		2			
	美術史		古典芸術論			2		
			日本美術史A			2		
			日本美術史B			2		
			西洋美術史A	2				
			西洋美術史B	2				
			現代芸術論A		2			
	民俗学		現代芸術論B		2			
			日本民俗学A			2		
			日本民俗学B			2		
古典特殊講義C				2				
古典特殊講義D				2				

※課程履修費について

本課程を履修するには学納金とは別に課程履修費が必要です。課程履修費は6,000円（3年次前期）、14,000円（4年次前期）です。

納入方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。

履 修 要 覧

2022年度

2022年4月 発行

編集／発行 金城学院大学履修支援センター
〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目1723番地
TEL (052) 798-0180
URL <http://www.kinjo-u.ac.jp>